

Sports Graphic Number

「スポーツグラフィック
ナンバー」

THE NIKKEI
MAGAZINE
STYLE

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2023-24 | NTT

日経マガジンスタイル 29 November 2023



JAPAN RUGBY
LEAGUE

ONE

NTTジャパンラグビーリーグワン2023-24開幕

W杯後の新たな挑戦

ラグビーが大好きです。

「明日のための今日にしよう。」

がんばっている人は輝いている。

スポーツする人も、働く人も。

今日という1日に本気になった人に、

明日はかならず応えてくれる。

ひとつ上の自分へ、

そんな心をヒト・コミュニケーションズは応援します。

株式会社 **ヒト・コミュニケーションズ**

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-9-6 03-5952-1111(代) www.hitocom.co.jp



NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2023-24

W杯後の新たな挑戦

NTTジャパンラグビー リーグワン2023-24開幕特集



JAPAN RUGBY LEAGUE ONE

CONTENTS

- 4 [大会総括]
フランスW杯で見た
日本ラグビーの課題。
- 8 [トップ選手が続々来日]
リーグワンで競演する世界のスーパースターたち。
- 10 [スペシャルインタビュー]
リーチマイケル「リーグワンを世界一にしたい」
- 12 クボタスピアーズ船橋・東京ベイ
「新王者を支えるチームの結末」
- 15 横浜キヤノンイーグルス
「頂点への最後のピース」
- 17 三重ホンダヒート
「地方からの情熱の挑戦者」
- 18 NECグリーンロケッツ東葛
「ディビジョン2降格の屈辱を超えて」
- 19 日野レッドドルフィンズ
「どん底からの再出発」

全23チーム紹介&ホストゲーム日程

- 20 DIVISION 1
- 24 DIVISION 2
- 26 DIVISION 3
COLUMN 2024-25の新規参入チームは?
- 28 スタジアム&チケットガイド
COLUMN クロスボーダーマッチ開催決定!
- 14 [初めてでも楽しめる]
スタジアムに行こう!
- 30 [新入り女性広報がナビゲート]
推しメンを探せ。

日経マガジンスタイル広告特集

編集 文藝春秋 〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23

発行 日本経済新聞社 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7

フランスW杯で見えた

日本ラグビー

「大会総括」

アルゼンチン戦では、ロックとは思えぬキックを交えた個人技でトライを挙げたファカタヴァ。
日本代表では最多の3トライを記録

キャプテンとして大会に臨んだ姫野。大会前から「優勝」を目標に掲げていたが、
プールステージでの敗退となった

の課題

LEAGUE ONE 2023-24 W杯後の新たな挑戦

大友信彦 = 文
text by Nobuhiko Otomo
松本輝一 = 写真
photographs by Kiichi Matsumoto

8強超えを目標に掲げて挑んだフランス大会で、日本はプールステージ敗退の結果に終わった。4年後へ向けて再スタートを切るにあたり、日本ラグビーが克服すべき課題とは何か。リーグワンの可能性と課題をあらためて検証し、次の挑戦、さらなる進化への道のりを探る。



Kiichi Matsumoto

2大会8シーズンにわたってHCを務めたジェイミー・ジョセフは、フランス大会をもって退任した

前回大会の8強を超える成績を目指して乗り込んだラグビーワールドカップ2023。しかし日本代表の挑戦には厳しい結末が待っていた。結果は2勝2敗。プールの3位。目標の「8強以上」には及ばなかった。

もともと、プールDからは、1位で通過したイングランドに加え、2位で決勝トーナメントに進んだアルゼンチンも準々決勝でウェールズを破って準決勝進出。「4強」にしか負けていないのだから「日本は5位タイ」と言い張ることだってできそうだ（同順位にはあの準々決勝の激戦で敗れたアイルランドとフランスもいるが）。……ともあれ、今回のワールドカップで日本代表が見せたパフォーマンスにリーグワンがどう貢献したのか、そして課題克服のために何が求められているかを考えてみたい。

今大会の日本代表で活躍が目立った選手の一歩手を挙げるならL Oアマト・ファカタヴァだろう。今年初めて代表スコッド入りした新星。トンガからニュージーランド（NZ）を経て大東大に留學し、ブラックラムズ東京（旧リコー）入りして5季目となる。一昨季までは出場機会も少なかったが、昨季はNO8、FLで全試合に先発し、ラスト5分で退いた1試合を除きフル出場。日本代表ではLOで起用されたが、スクラムやブレイクダウンのハードワークを遂行しつつ、チャンスを見つければ鋭く反応して今大会日本代表最多の3トライ。とりわけ、アルゼンチン戦でタ

ッチライン際に走り込み、キックを交えて奪ったトライは海外メディアも絶賛した見事なものだった。これまで代表経験のなかった新星の活躍は、彼が育ったリーグワンの充実を示す一例とも言えるだろう。

今大会の日本代表は、海外出身選手も含めた代表33人全員が国内リーグであるリーグワンのチームに所属していた。当たり前のようにも思えるが、サッカーの日本代表は今では海外組が過半を占める。出場国を見渡しても、自国リーグ所属の選手のみでチームを構成していたのはニュージーランド、アイルランド、フランス程度。4強に進んだチームでは、南アフリカにはリーグワンの選手が8人も含まれていた。プール最終戦で日本を破り、準々決勝も突破したアルゼンチンは、7人制メーソンの1人を除く全員が欧州など国外のクラブでプレーしている。

100%リーグワンの選手で構成された日本代表なら、その実力を「リーグワンの実力」と言い換えることもできるだろう。

しかし、日本代表のジェイミー・ジョセフヘッドコーチは、リーグワンについて「インターナショナルとはフィジカルレベルが違う」と物足りなさを感じた。口にし、「サンウルブズがなくなったのが響いた」と嘆いた。サンウルブズは、南半球のスーパーラグビーに参戦するために設立され、2016年から20年まで活動した。選手は主に当時のトップリーグチームから期限つき移籍で参加。日

本代表の中心選手のほか、代表資格を満たす以前の外国出身選手や、代表デビュー前の若手も加わった。成績は5シーズンで9勝と振るわなかったが、毎週のように強豪国のトップ選手と身体をぶつけ、フィジカル強度に馴れたことに加え、長時間・長距離の移動を繰り返しながらシーズン15、16試合を戦うタフな経験は、逆境に強い選手を鍛え上げた。

だがサンウルブズは20年を最後に除外された。拠出金について合意できなかった事情もあるが、本質的には日本側が新リーグ、つまり現在のリーグワン設立に進んだことが理由だ。リーグワンは清宮克幸副会長が19年7月に構想を明かした段階から「ヨーロッパカップ、スーパーラグビーと並ぶ世界ラグビー第3の極を目指す」と位置づけられ、チームには競技力だけでなく事業化を求めた。各チームは世界からスター選手を次々と獲得。19年ワールドカップ日本大会を制した南アフリカ代表からH Oマルコム・マークス、SHファフ・デクラーク、NZ代表オールブラックスからボーデン・バレット、ダミアン・マッケンジーらスーパースターが相次いで来日する豪華なリーグとなつている。

喫緊の課題は リーグワンの強度の向上。

一方で、リーグ全体の強度は課題だ。

2022-23年のD1のリーグ戦96試合のうち、30点以上の差がついた試合は26試合（27%）、うち50点差以上の大差は4試合あった。これは例えばフランスリーグのTOP14と比べると対照的だ。TOP14はレギュラーシーズン182試合とリーグワンのほぼ倍の試合をこなすが、30点差以上に開いた試合は14試合（8%）。逆に、ワンチャンスで逆転または同点となる、7点差以内の僅差の決着



これまでの大会と同様、選手たちは多くの時間を日本代表とクラブの活動に捧げたが、多くの課題が見えた大会となった

「インターナショナルとはフィジカルレベルが違う」——ジョセフHC

(引き分け含む)は74試合(41%)にのぼる。リーグワンでは24試合(25%)だった。

それだけではない。フランスのTOP 14とイングランドのプレミアシップ、そしてアイerland、スコットランド、ウェールズにイタリヤ、南アフリカのチームも加わったリーグ戦「ユナイテッド・ラグビーチャンピオンシップ」の上位チームは、並行してヨーロッパカップ(ハイネケンカップ)も戦う(南ア勢は不参加)。年間の試合数、強度だけでも相当だが、そこには海外のチームと頻繁に对战する機会がある。異なる環境、文化のチームとの対戦経験は貴重だ。

南ア勢が抜けた南半球のスーパーラグビーも、NZとオーストラリア、さらにフィジー、サモア、トンガ等の選手で構成するチームも加わる国際リーグだ。リーグワンも当初から上位チームが海外リーグの上位チームとクロスボーダーマッチを実施する方針を掲げてきた。それが今季実現し、2月にニュージーランドからチーフスとブルースが来日の予定だ。この現状では、より高いレベルで成長を求めるトップ選手は、フランスへ渡った松島幸太郎、NZへ渡った姫野和樹のように個人単位で挑戦することになるのか。チームにとってはスターが海外流出したら痛手でもあるが、ここは選手の成長機会と捉え、代表での活躍と将来の凱旋を待ちたい。

一方で、試合数の増加は選手のウェルフェア(福祉・安全)にも関わる。試合数が増えれば必然的にケガや好不調の波、主力の休養などで多くの選手に出場機会を与えなければならなくなる。だがそれは、今回の日本代表の最大の課題として残った「選手層の薄さ」を克服するためのプラス材料と捉えたい。

自国開催だった19年のワールドカップで日本代表は8強に進んだが、最後の準々決勝で「戦う力が残っていなかった」という声が

多くの選手から聞かれた。優勝を争う上位国はどこも、プール戦では選手をローテーション起用して疲労をセーブし、決勝トーナメントを戦う体力を残していた。初めて準々決勝に進んだ日本には考えられなかった方法だが、より上の成績を目指すなら、日本もそこを目指さなければならない。

だが今大会でもそれは実現できなかった。代表メンバー33人のうちプール全試合に出場したのが17人で、うち8人はすべて先発。逆に一度もメンバー入りしなかった選手が5人もいた。日本代表ほどの試合でも前半は質の高い戦いを見せたが、後半に疲れが見え、メンバー交代後にパフォーマンスが落ち、試合のラスト20分に追い上げられ、あるいは突き放された。この課題を克服しなければ、日本代表にこれ以上の成績は望めない。

リーグワンでも同じ現象が起きている。日本代表に選ばれるような中心選手は休みなく稼働する一方で、若手はなかなか試合経験を積めずにいる。これでは次代の日本代表を担う人材はなかなか育たない。

サテライト戦、カップ戦などを開催し、多くの選手に試合出場機会を作る必要性はリーグ立ち上げ当初から指摘されていたが、コロナ禍もあり、後回しにされてきた。個別にリザーブマッチを行っているチームもあるが、現状では練習試合の位置付けだ。若手のモチベーションを高めるため、協会とリーグには、公式戦に準じた仕組み作りを求めたい。

選手層の強化は日本ラグビーが全体で取り組むべきことだ。日本協会の岩淵健輔専務理事は、日本代表の国際試合を増やすこと、準じつつ「まずリーグワンの充実を」と話す。リーグワンで育った選手が世界で戦う未来を想像しながら、今季のリーグワンの戦いを楽しみたい。

THE NIKKEI MAGAZINE

「いまのラグジュアリー」を提案する Webメディアが2023年4月からスタート。
ブランドの想いや洗練された着こなしなど、暮らしを豊かにする上質で知的な情報を発信しています。

Watch & Jewelry ジュエリーレッスン



パールジュエリー
モードなアレンジで脱コンサバ

#ジュエリー #ファッション

#ブランドストーリー

Fashion ファッションハック



2023-24年秋冬、
押さえておきたい6キーワード

#ファッション #トレンド

Watch & Jewelry ゼンマイ女子



ポップな5色のダイヤル
ロレックスの新作に胸アツ

#時計 #ジュエリー

Fashion ニュースなルック



ファッション界の「上様」富永愛
誰もがひれ伏す魅力

#ファッション

Fashion ニュースなルック



タキシード日本代表
お茶目なイケオジ役所広司

#ファッション #ライフスタイル

#カルチャー

People リーダーの装い



クルマ際立つ白スーツで
ロールス・ロイス APAC 代表

#ファッション #インタビュー #クルマ

#ビジネススタイル #ブランドストーリー

Lifestyle A RIDE FOR FUN



ローザンスで見た曲線美
日本EV、「不易」にチャンス

#旅 #クルマ #ドライブ

Lifestyle とっておきの旅



加賀百万石の伝統工芸美
金沢のホテルで存分に味わう

#リゾート #旅 #ホテル

Lifestyle グルメモード



ラグビーワールドカップを
食で応援! 仏料理、都内なら…

#グルメ #ワイン #レストラン

上記でご紹介したコンテンツの
一覧ページはこちらから →



<https://magazine.nikkei.com/>



RICHIE MO'UNGA
SO
東芝ブルーパズ東京



FAF DE KLERK
SH
横浜キャノンイーグルス



CHARLES PIUTAU
FB
静岡ブルーレヴズ



AARON SMITH
SH
トヨタヴェルブリッツ



LIAM WILLIAMS
FB
クボタスピアーズ船橋・東京ベイ



CHESLIN KOLBE
WTB
東京サントリーサンゴリアス

ワールドカップで競演する 世界のスターたち。ハイ

W杯決勝を戦った南アフリカとニュージーランドの選手を中心に、今季のリーグワンには各国のスター選手が大半として参戦する。世界でも超一流のプレーを目的の選手にするチャンスを見逃すな！

「トップ選手が続々参戦」

雄叫び。ため息。口笛。夜中なのにその場で跳び上がってしまう人もいただろう。9月8日から2カ月近くに渡って繰り返されたラグビーワールドカップは、まったくスゴ技の連続だった。そして、そのスゴ技を見せてくれた選手が、ワールドカップが終わると大挙して我らがリーグワンの戦場にやってくる。これはホントにウレシイ!!

注目すべき新加入選手の一人目は南アフリカの爆走WTBだ。思い出してほしいのは、ワールドカップ準々決勝最大の注目カードとなった開催国フランスvs.前回王者南アの戦い。前半22分のフランスのトライのあと、ブルステージで成功率89%を誇ったF Bトマ・ラモスがコンバージョンの助走に入り、まさに蹴ろうとしたその瞬間、弾丸と化して目の前に襲いかかったのは南アフリカ代表の背番号11、チェスリン・コルビだった。キックに向かって身長170cmの身体を投げ出し、いっばいに伸ばした両手でボールを叩き落とす会心のチャージダウン!

南アフリカは結局、この試合を29-28で制して4強進出。1点差の勝利を呼び込んだのは、今季から東京サントリーサンゴリアスに加入するこのコルビが防いだ2点だった。

コルビの輝きはもちろんチャージだけではなく。前半26分にはC T Bジェシー・クリエル(横浜キヤノンイーグルス)のキックに反応して猛然と飛び出し貴重な勝ち越しトライもあげた。かと思えば、後半は相手陣で停滞したラックに駆け寄ると、その場でボールを拾い助走もつけずにドロップゴール。これは惜しくも外れたが、爆発的なランニングに加え、恐ろしいほどの引き出しの多さだ。リーグワンではどんな走りを見せてくれるのか?

準々決勝で輝いた選手をもうひとりあげるなら、ニュージーランド代表オールブラックスの司令塔S O リッチー・モウンガだ。優勝候補といわれた世界ランク1位アイルランド

今季リーグワンに所属予定のW杯フランス大会出場選手

(2023年11月7日時点)	Pos.	Team
ニュージーランド代表		
プロディ・レタリック	LO	神戸S
シャノン・フリゼル	FL	BL東京
アーディ・サベア	NO8	神戸S
アーロン・スミス	SH	トヨタV
ボーデン・バレット	SO	トヨタV
リッチー・モウンガ	SO	BL東京
デイン・コールズ	HO	S東京ベイ
サム・ケイン	FL	東京SG
南アフリカ代表		
フランコ・モスタート	LO	三重H
ビーター・ステフ・デュトイ	FL	トヨタV
クワガ・スミス	FL	静岡BR
ファフ・デクラーク	SH	横浜E
ダミアン・デアレンデ	CTB	埼玉WK
ジェシー・クリエル	CTB	横浜E
チェスリン・コルビ	WTB	東京SG
オーストラリア代表		
マシュー・フィリップ	LO	横浜E
サム・ケレビ	CTB	浦安DR
マリカ・コロインベテ	WTB	埼玉WK
ウェールズ代表		
ガレス・アンスコム	SO	東京SG
リアム・ウィリアムズ	FB	S東京ベイ
サモア代表		
タレニ・セウ	LO	S愛知
リマ・ツボアンガ	SO	江東BS
トンガ代表		
チャールズ・ピウタウ	FB	静岡BR
オーガスティン・フル	SH	日野RD
アルゼンチン代表		
パブロ・マテラ	FL	三重H

との一戦。ビッグプレーは18-17で迎えた後半13分に飛び出した。自陣10m線付近のラインアウトから出たパスを掴むと、相手DFの隙間を切り裂いて敵陣に侵入。そのまま加速すると、残るタックラーとの間合いを慎重に見極めて精緻なラストパスを放ちWTBウィル・ジョーダンのトライをアシスト。C T Bジョーディー・バレットがコンバージョンを蹴り込み、これが決勝点となりオールブラックスは難敵を撃破したのだ。

このモウンガ、今季は東芝ブレイブルーパ東京に加入するのだが、同じ試合でアイルランド相手に猛タックル、ぶちかましを反復して勝利に貢献したFLシャノン・フリゼルも一緒にBL東京入りする。ハイランダーズではトヨタヴェルブリッツの姫野和樹とバツクローを組んだタフガイが、今度はリーチマイケルとペアを組んで姫野と対決するのか?

決勝カードの南アとNZから15人もの代表選手が来日。

そのトヨタも負けてはいない。同じオールブラックスで高速パスでチームを前に出し続けた世界的SHアーロン・スミスがやってくる。しかも21年にサンゴリアスでプレーしたSO/FBボーデン・バレットとセットでの入団なのだ。黒衣の魔法使いと呼ばべきゲームメーカー2人が加わったら、いったいど

んなチームになるのか想像もつかない。

ラグビー王国からの降臨はまだ続く。前述の試合で右隅への豪快なダイビングトライを決めるなどオールブラックス最多のボールキヤリー15回を数えたパワフルな突破役NO8アーディ・サベアはコペルコ神戸ステイラーズへ。こちらも、14年の世界最優秀選手でトップリーグ時代の21年にも神戸に所属し、ベストXVにも輝いた鉄人LOプロディ・レタリックと揃っての加入というからすごい。超パワフルFWで名門復活を担う。

さらにW杯終了後には、オールブラックスから引退を表明していたHOデイン・コールズのS東京ベイ、そしてキャプテンのFLサム・ケインの東京SGへの加入が発表された。欧州からも英雄がやってくる。ウェールズから昨季王者のクボタスピアーズ船橋・東京ベイに加わるのはFBリアム・ウィリアムズだ。アルゼンチンとの準々決勝では負傷で途中交代してしまったが、ワールドカップには15年から3大会連続出場。95キヤップを誇る万能FBが、バックスリーに生きのよい若手が並ぶスピアーズにどんなエッセンスを注ぐか? 同じウェールズからはFBもできるSOガレス・アンスコムが東京SGに加わる。日本でレッドドラゴンのトイメン対決もあるか?

リーグワンにやってくるのは決勝トーナメントに進んだ強豪国の選手だけではない。静岡ブルーレヴズにはトンガ代表FBのチャールズ・ピウタウが加わる。オールブラックスで17キヤップを獲得し、ワールドラグビーの代表資格変更を受けてトンガ代表入り。今大会唯一の勝利となったルーマニア戦ではチーム最多のボールキヤリー19を記録。オフロードパス成功数10はブルステージ終了時点で参加全チーム中最多を記録した。ボールを止めずに動かし続け、上位国も苦しめた神業スキルがリーグワンのピッチで見られる!

LEAGUE ONE 2023-24 W杯後の新たな挑戦

大友信彦 = 文
text by Nobuhiko Otomo

「フランスW杯の感想を聞かせて下さい。」「どこも強かった。その中で、日本代表は準備してきたものを出し切った。今の力を全部出した結果だったと思います」

大会前、国内シリーズは1勝4敗。本大会での戦いぶりを不安視されていました。ターニングポイントはどこにありましたか。

「W杯初戦のチリ戦ですね。良い形で勝って、自信がついた。W杯本番に向けてチームが成長していくことは分かっていたけれど、大会前にイタリアにも負けて、ちよつと不安ではあった。でもその後、チームみんなでビールを飲んで、お互いに思っていることを言い合っていて、いい雰囲気になった。そこから開幕に向けてチームは成長したし、僕自身は4度目で初めてW杯を楽しめました。プレッシャーの中で戦うこと、そこで勝つことを楽しめた」

試合展開開いたのに、あと一歩、踏ん張れなかった自分に腹を立てたりしていました。ホント、あと一歩だったけど……チームとして、W杯でタイトな試合をどれだけ経験しているか、強いチームはラスト20分のキツい時間帯に正確なプレーができる。その差が出てしまったんだと思います」

今回のW杯では他国の戦いも見ましたか。

「はい。前回までは自分たちのことしか考えられなかったけど、今回はキャプテンじゃなかったし、リラックスして他国の試合も見るのができました。フィジーやポルトガルの頑張りを見ていて楽しかったし、すごく刺激を受けた。あとは決勝ですね。デュトイ（南アフリカ）のタックルにはインスパイアされました。やはり決勝の舞台は特別で、そこに立つ選手たちは本当に強い選手だけ。やっぱりあそこ立ちたい、決勝の舞台でプレーしたいという思いが強くなりました」

今回は優勝という目標を掲げながらも、残念ながら叶いませんでした。「前回大会で初めて『日本代表にも優勝の可能性はある』と思うことができた。今回は優勝を目指して戦ったけど、世界の壁を改めて感じました。でも、優勝は決して不可能じゃない。可能性は絶対にある。そう信じてます。これからは、本当に優勝するんだという思いを持った選手を育てていかなきゃいけない。W杯はただ参加すればいいんじゃない、出るならチャンピオンを取るつもりで行かなきゃ」

今年35歳。代表のチームメイトに「いつするの?」と聞かれて……

「リーチさんはもう『2027年のW杯を目指す』と公言していますね。」「アルゼンチン戦が終わってみんなでビールを飲んだとき『どうするの?』と聞かれて、

W杯で優勝を目指すのと同じように、リーグワンでも優勝を目指します。



MICHAEL LEITCH
No.8

東芝ブレイブルーパス東京

1988年10月7日、ニュージーランド生まれ。15歳のときに札幌山の手高に留学。東海大に進学し、2011年にブレイブルーパス加入。日本代表デビューは東海大在学中の2008年11月。2011年から4大会連続でW杯出場。2015年、2019年大会ではキャプテンを務め、日本の躍進に貢献。代表通算84試合出場。188cm、115kg

「またまたやりたいと思ってる」と答えたら、みんなに『なんで?』と聞かれました(笑)。僕はまだまだ代表でプレーしたい。もつと強く、うまくなりたいたいし、なれると思う。実力で選ばれなかったらそれまでだけど、自分から身を退くことはしない。それにB1東京でまだ優勝してないし、優勝したい」

「ここから先は選手だけ、チームだけ頑張っても無理。日本ラグビー全体が取り組んでいかないと。この4年間は上位国ばかりとテストマッチをしていただけれど、アメリカやカナダ、アジアの国とも対戦して、若い選手にも経験を積ませながら他国の強化にも貢献したい。特にアジアですね」

W杯で日本代表が優勝するためには、何が必要だと思いますか?

リーチさん自身、モンゴルの選手を日本に留学させるなど行動に移していますね。

「札幌山の手高に留学したダバジャブ・ノロブサマブーはすごい。ポテンシャルを持っていて、今は国士館大で勉強もラグビーも頑張っています。でも、たとえば韓国ではプレーを続ける場がなくラグビーをやめってしまう選手が多い。リーグワンがアジア枠を復活させて、彼らがラグビーを続ける受け皿になってほしい。それと、カテゴリーAの海外出身選手が多くて、日本の若手の出場機会が減っているのも改善してほしい。リーグワンには世界のスーパースターが集まって、上位と下位の力の差もなくなってきた。ゆくゆくはリーグワンを世界一のリーグにしたいですね」

「リーチさん自身のパフォーマンスは。」「もつと走れるようになりたい。走れば強い選手になりたい。この4年間は人生の中でもかなり走った方で、走れば走るほど体力はつくし、限界を決めないでやりたい。次の日本代表にも、経験じゃなく実力で選ばれたいし、そのためにもリーグワンでいいプレーをしたい。W杯で優勝を目指すのと同じように、リーグワンでも優勝を目指します。今のファン、特に子どもたちは『日本代表は強い』というイメージを持っているので、それに応えられるプレーをしたい。個人的に楽しみなのは、神戸Sに入るアーディ・サベアとの対戦です。ワールドラグビーの最優秀選手ですからね。世界一の選手との戦いを見てほしいです」



LEAGUE ONE 2023-24

W杯後の 新たな挑戦

大友信彦 = 文

text by Nobuhiko Otomo

松本輝一 = 写真

photographs by Kiichi Matsumoto

リーチマイケル

[スペシャルインタビュー]

「リーグワンを世界一にしたい」

2011年の秋、初めてW杯の舞台に立ったときはまだ22歳。そして、日本は弱かった。あれから12年。世界も驚いたジャパンの目覚ましい躍進は、この男の歩みと共にある。日本ラグビーの大黒柱が、4度目となったW杯の感想とリーグワンへの抱負を語った。



1978年の創部以来、トップカテゴリーで初めての優勝を果たしたスピアーズの面々。長い低迷を乗り越えての歓喜だった

Kubota Spears Funabashi TOKYO-BAY

クボタスピアーズ船橋・東京ベイ

【初優勝までの軌跡】

「新王者を支えるチームの結束」

トップリーグ時代は中団から下位を定位置としていたスピアーズが、ワイルドナイツの連覇に待ったをかけ、悲願のリーグ制覇を成し遂げた。その快挙の要因を、チームの顔として長年活躍してきた立川理道と新鋭の木田晴斗に聞いた。

ただすぐに結果は出なかった。ルディケ体制1年目は前年と同じ12位。翌年も11位。「2年やって結果が出なかったとき、主将を降りようと思ったんです。でもそう言ったらフランが怒ったんです。初めて怒られました」ありえない。オレはお前とやると決めたんだ。ルディケはそう立川に告げたという。「僕も正直心が折れてて、チームに温度差がある、コミットしていない選手がいる……とネガティブなことをぶつぶつ言ったんです。それを聞いたフランは『そんなチームを作っ

た。立川も同じシーズンに主将に就任。以来、2人は二人三脚でチームを引っ張ってきた。「正式に就任する前、契約のため来日したときに、2人で話す機会があったんですが、フランは選手の顔写真と名前、ニックネームを書き込んだ紙を自作していて、選手の特徴、誰にリーダーシップがあるかなどを僕にたくさん質問してきた。マジメな方なんだというのが第一印象。チームが変わるきっかけになると思いましたね」

クボタスピアーズ船橋・東京ベイに、南アフリカのブルズをスーパーラグビー連覇に導いたフラン・ルディケHCがやってきたのは2016年だった。「それまではスタッフ全員クボタのOBだったんです。そこに海外で実績のあるコーチがいる。本気で強化するんだと思いました」スピアーズの立川理道主将はそう振り返る。立川も同じシーズンに主将に就任。以来、2人は二人三脚でチームを引っ張ってきた。

DIVISION
1
Conference A

LEAGUE ONE 2023-24

W杯後の新たな挑戦

大友信彦 = 文
text by Nobuhiko Otomo

たのはオレとお前だろ」と。上から見ると、やなく、寄り添ってくれた。それで僕も『もう1年がんばろう』という気持ちになった」

立川は15年W杯で南アフリカを破るなど躍進した日本代表の中心選手で、16年には日本代表の主将を、17年には日本代表別動隊のサ

ンウルブズでも主将を務めた。主将の心得は、その前の日本代表の主将だった廣瀬俊朗やリーチマイケルを通して学んでいた。今のチー

ムにはどんな声かけが必要か？ マジメな立川は周到に言葉を考えて練習前のミーティングで、試合前の円陣で、仲間へ声をかけた。だが、その言葉はうまく届かなかった。そして3年目、立川はそのスタンスを変えた。

「ミーティングや円陣では、そのとき感じたことを言うようにしたんです。それまでは『リーダーはどう振る舞うべきか』『今日は何を話そうか』と考えてた」

ハドルの空気が変わった。立川の言葉に選手たちがウンウンと頷く。言葉に熱がこもり、会話に血が通い始めた。ライブ感だ。

タイミングよく、チームに新しい血も加わってきた。南アフリカ代表のマルコム・マックス、オーストラリア代表のバーナード・フォーリー、ニュージーランド代表のライアン・クロツティといった世界のトップを経験した選手たちが加わり、リーダーシップを確立。それまでチームプランを遂行しようとするあまり、想定外の事態への対応が苦手だったチームが分権化し、コミュニケーションも円滑

化。FW最前列からBK最後尾まで現場に即した判断が下され、共有され、立川もより俯瞰した視点でゲームをリードできるようになった。南アフリカから獲得したLO、デーヴィッド・ブルプリング、ルアン・ボタのサイズを活かせる間は、パワーで押す。ブレイクダウンは日本代表でも活躍するピーター・ラプスカフニが先頭に立って制圧。相手DFを寄せたらWTB近藤英人、金秀隆らBKの快足ラ

ンナーがスペースを駆け抜ける——チームに好循環が生まれた。トップリーグのラストイヤーになった2021シーズン、スピアーズは準々決勝でコベルクコスティーラーズを23-21で破り、最高成績の4強に進出した。

チームの躍進を後押ししたファンへの恩返し。

その矢先に、トップリーグはリーグワンに再編された。各チームには強化だけでなく、地域への貢献、ジュニアの育成、事業性、ファンサービス、情報発信など多様な活動が求められた。スピアーズは事業性に関する審査で最高位の評価を得たと報じられた。

「選手としては『そこで1位になってもなあ』という思いも(笑)。でも、運営側がそこまで努力してるんだから、現場の選手も1位の結果を残さない」と、いう気持ちになりました」

リーグワン誕生にあわせるように、選手たちが続けてきた学校訪問、タグラグビー教室やビーチクリンなど地域貢献活動の成果も現れ、ファンの熱は加速度的に上昇した。

「ファンの方々の熱を一番感じられるスタジアムだと思います」

本拠地『えどりく』をそう表現するのは、昨季、新人ながらトライを量産してベスト15も受賞したWTB木田晴斗だ。ホームゲームでは陸上トラック部分にサポーター用の特設スタンドを設置。至近距離で声援を受ける。「応援してもらえると実感する。勝つことで恩返ししたい」という気持ちが強くなります」

スピアーズはトップリーグラストイヤーに金秀隆、リーグワン元年に根塚洗雅と2季連続で新人賞を輩出。どちらも木田と同じWTB/FBの選手だ。何か秘密があるのか？

「BKとしては、まずFWが大きくて強いことで助かっています。前へ行きやすい(笑)。あとは田邊コーチがWTBに必要なスキルを1年間、イチから徹底して教えてくれました」

HARUMICHI TATEKAWA

CTB 立川理道



Hideki Sugiyama(2)

HARUTO KIDA

WTB 木田晴斗



(上)2016年からキャプテンとしてチームを牽引する立川。チームの音楽をよく知る選手だ。(下)入団1年目の昨季はベストラインプレイヤーに選ばれるなど将来を囑望される木田

どのスキルはどんな場面で生きてくるのかと、NZで高校・大学生活を送り、パナソニックワイルドナイツ、サンウルブズで成果を上げてきた田邊淳コーチの複眼的な視点、スピアーズに集った多様な才能の可能性を発見して融合。一瞬で変化する現代ラグビーへの対応力が養われた。それを、チームの長年の土台となってきた家族的な「和」が支えた。

昨季はチームを「F1」と呼んだ。レースのピットワークには道具や片付けなどあらゆる準備、細かい作業……チーム全員に役割がある。誰か欠けてもチームは成立しない。全員でプロの仕事をやりきろう、互いを高めあおう。「ホント、仲のいいチームなんですよ」立川も木田もそう言って笑った。とても良い笑顔だった。



三菱重工相模原ダイナボアーズ

SAGAMIHARA DYNAMOARS/21



(上) ディビジョン1で唯一、代表選手がいないチームながら、試合日には地域のファンが応援に駆けつける。地元グルメが楽しめるキッチンカーは県外からのファンにも好評。(下、右) 数々のスポーツ実況の実績を持つ四家秀治。「試合が終わる頃には、ラグビーに詳しくなっているぐらい、細かく丁寧な解説は多くのファンからも好評です」(白崎)

熱狂に沸いたラグビーW杯だが、実際にリーグの試合にまで足を運ぶファンは多くない。このライト層にいかにお客に来て、楽しんでもらうか。各チームは様々な施策を練っている。クボタスピアーズ船橋・東京ベイは「オレンジアーミー」と呼ばれる熱烈なファンを持つことで知られているが、スタンドに閉鎖的なムードはなく、ノースサイドの精神で、相手チームのファンも共にラグビーを盛り上げる仲間だと考えている。昨季好評だったのは、チームカラーであるオレンジのブーストシャツをすべての観客に無料で配布した点だ。対戦相手のファンにまで配布するというのは、他競技を見渡しても珍しいが、こうした試みは東京サントリリーサンゴリアスなどでも導入されている。今季は開幕戦でもグッズを配布予定ということで、一体感のある応援を楽しみたい人は、開幕戦やプレーオフなどのビッグマッチを狙うのがおすすめだ。地元密着で集客数を伸ばしている

[初めてでも楽しめる]

スタジアムに行こう!

LEAGUE ONE 2023-24
W杯後の新たな挑戦

林田順子 = 文
text by Junko Hayashida

スタジアムで楽しめるのは、プレーだけじゃない。魅力的なファンサービスに力を入れる2チームが提案するスタジアムの楽しみ方をご紹介します。

のが、三菱重工相模原ダイナボアーズ。ホストスタジアムは最寄駅であるJR相模線の原当麻駅から徒歩で約30分という地の利の悪さを逆手にとった、地元をとことん意識した活動を行い、今では平均観客数が4000人、昨季は7000人を記録した試合もあるという。さらに今季の開幕戦では『相模原1万人プロジェクト』と称して、過去最多の来場者を目指す。また、車での来場者を減らすため、試合日は原当麻駅からウォーキングラリーを開催。この施策を導入してから、観客の約10%が徒歩で来場するようになった。今季は道中にチェックポイントを設け、試合ごとに異なるステッカーをプレゼントするキャンペーンを予定。また、小田急小田原線相模大野駅からは、無料シャトルバスも運行するなど、周辺の渋滞緩和に力を入れる。ライト層にも楽しんでもらうためにスピアーズが今季から試合に導入しようとしているのが映像と音楽だ。「W杯の雰囲気やイメージして来場された方は、リーグの試合にギャップを感じると思います。そこで今季は舞台裏などを撮影するカメラも導入し、映像と音楽を使った演出で、誰もが楽しいと思えるムードを作ります(スピアーズアシスタントGM・栗原喬)」。ダイナボアーズはルールが分からない初心者でも楽しめるよう、「SPORTSなどで実況も行う四家秀治をスタジアムMCに起用。「ラグビーの弱点はルールが分かり

にくいところ」です。四家さんは細やかなルール解説ができる方ですが、さらに選手の状況やパーソナリティを伝えるために、毎試合前に1時間の事前ミーティングを行っています。スクラムが崩れて時間が空いたときなど、どうしても手持ち無沙汰になりがちなので、例えば『この選手は社員選手で、フォークリフトの免許を持っています』などのこぼれ話を節目目に入れていきます(ダイナボアーズ広報・白崎孝紀)。

また次世代への普及も視野に、両チームともファミリー層にも配慮。スピアーズはキッズルームやベビーカー置き場、授乳室などを積極的に設置していく予定です。ダイナボアーズは、ゴール裏の芝生席を子供が自由に走り回れるスペースとして開放し、家族連れに好評を得ている。試合以外でも楽しめるようにスタジアム周辺の環境づくりに力を入れている。ダイナボアーズは地元を中心としたキッチンカーが常時20店以上も出店。今後はさらに増やしていく予定だという。スピアーズは農作物の流通などを行うグループ会社、関東甲信クボタが、野菜の直売を行う。安くて新鮮な野菜が買えることもあって、毎回大人気だ。様々なチームがコアなファンからライト層まで楽しめる企画を考えている。気軽な気持ちでぜひ一度スタジアムに足を運んでみよう。

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE



クボタスピアーズ船橋・東京ベイ



(上) 昨季のプレーオフでは配布したオレンジのウエアを纏ったファン「オレンジアーミー」がスタンドを埋めた。「これからもクボタ独自の応援スタイルを確立していきたい(栗原)。(下) グループ会社の関東甲信クボタによる野菜の直売は、ファミリー層に人気。今季は競技の枠を超えて、アーバンスポーツとのコラボイベントなども実施する予定だという

Kubota Spears Funabashi TOKYO-BAY

横浜キヤノンイーグルス

[リーグ屈指の攻撃力]

「頂点への最後のピース」

着実な強化が実り、昨季のイーグルスは創部42年にして過去最高となる3位の成績を収めた。キャプテンとして2季目を迎える梶村祐介が考える、頂点に到達するための最後の課題とは。

W杯後の新たな挑戦

日比野恭三 = 文
text by Kyozo Hibino

1

DIVISION
Conference B

明大卒業後、サントリーサンゴリアス(当時)を経て、2021-22シーズンからイーグルスで活躍する梶村。キャプテンとして2シーズン目に挑む



Hibino Kyozo

昨季のリーグワンにおいて、横浜キヤノンイーグルスは大きく躍進した。リーグ戦で4位、プレーオフトーナメントでは東京サントリーサンゴリアスを破って3位に食い込んだ。これは、2012-13年シーズンから始まったトップリーグ時代を含めて過去最高の成績に当たる。サンゴリアスのヘッドコーチとしてトップリーグ連覇を果たした実績のある沢木敬介がイーグルスの指揮官に就任したのは20年。3季目に当たる昨季の好成績は、チームづくりの着実な進展を示している。

「ひとつは規律。簡単なエラーを少なくすることが重要です。あとは得点できる時に取りきる力。相手陣内の22mラインを越えたととき、どれだけスコアして帰ってこられるか。このふたつを伸ばさないといけない」

「ひとは規律。簡単なエラーを少なくすることが重要です。あとは得点できる時に取りきる力。相手陣内の22mラインを越えたととき、どれだけスコアして帰ってこられるか。このふたつを伸ばさないといけない」

「クラブの歴史を塗り替えられたのはよかったですけど、トップ4のチームに勝てなかった。僅差の試合を落とすことが多かったんで、まだまだ成長する必要があると感じました」

リーグ戦1位の埼玉パナソニックワイルドナイツと、同2位のクボタスピアーズ船橋・東京ベイにそれぞれ1敗。同3位のサンゴリアスには2点差の惜敗を含む2敗。それ以外に負けはなかったから課題は明白だ。力が拮抗する上位チームとの対戦で勝敗を分けるものは何か。梶村が端的に答える。

「これはまだディフェンスのスタイルというものはなかった。それを今、新しく築いているところです。相手の時間をできるだけ早く奪い、プレッシャーをかけてミスを誘う。そこをやりきれれば、大事なゲームで自分たちを支えてくれると思う」

チームのみならず梶村個人にとっても、ディフェンスは今季の大きなテーマだという。

「僕自身、その部分はすごく変わったなと感じてます。特にタックルですね。昨季の3位決定戦のとき、コツをつかんだというか、スイッチが入るようになった。正直、これまではまったく武器じゃなかったんですけど、今季からはタックルを武器にしていけたら」

チームは『MASTER OUR BELIEF』というスローガンを新たに掲げた。「我が信念を極めよ」とでも訳せるだろうか。

そのメッセージは、梶村の発言とリンクする。目標とする優勝のために必要なラストピースは何か、という問いへの答えだ。

「昨季には無かったものでいえば、自分たちを信じる力。これまでは何

も手にしてこなかったので、信じろと言われても何を信じればいいのかからないところはあったと思う。でも実際に3位という結果を示せたことで自信がわいた。信じる力を1シーズン維持できれば、チャンピオンに近づけると思っています」

梶村によれば、イーグルスが抱える課題のひとつが「浮き沈みの激しさ」。チーム状況が落ちゆくときこそ、ラストピースの真価が問われそう。今季もキャプテンを担う梶村は決然と言う。

「疑っている選手がいれば組織は弱くなっています。自分たちはトップ4のチーム。今季はチャンピオンを狙う。そう信じ続けられれば波もなくなっていく。チームの状態が悪いときは良い影響を与えられる存在になりたい」

昨季の実績を足場にして、未踏の階段をまたひとつ上がれるだろうか。創部から43年。悲願の優勝はもう手の届くところにある。



南アのファフ・デクラークは、昨季からSHとして活躍している

リーグワンも!

NTTジャパンラグビー リーグワン2023-24 12月9日開幕



ラグビー情報は

Sports Graphic
Number Web

でも大好評配信中!



日本代表も!!

次回W杯は2027年オーストラリア大会



Number Web





トップカテゴリーでの戦いは6回目となるヒート。過去、昇格と降格を繰り返してきたチームの歴史に終止符を打つべく、今季は決意を胸に戦う

DIVISION 1 Conference A

MIE Honda HEAT

三重ホンダヒート

【雑草集団の意地】

「地方からの情熱の挑戦者」

ディビジョン1では数少ない地方チームのひとつが三重県鈴鹿市を拠点とするヒートだ。地元からの力と新たなHCを得た今季の雑草集団は、上位進出を狙って泥臭く戦う。

3季目のリーグワンは、地方から熱い風が吹き込みをうた。

昨年の入替戦でディビジョン2(D2)の三重ホンダヒートがNECグリーンロケッツ東葛を激闘の末に退け、悲願の昇格を達成。イタリア代表躍進の立役者となったキアラン・クロリーをHCに招聘し、虎視眈々と上位進出を狙っている。

この昇格は、中長期スパンでの強化の結実といってもいい。

「ホンダでは7つのスポーツクラブが活動していますが、企業色が強く、発信が内向きだったことが足かせとなり、リーグワンではD2からの出発を余儀なくされました。この反省を生かして事業化に取り組んだことで、昇格を実現したのです」

こう語るのは就任6季目を迎える前田芳人GM。上がったのは落ちを慌た

だしく繰り返したトップリーグ時代、ヒートは外国人を除けばプロ選手を一切入れずに戦ってきた。だがリーグワン発足後は日本人選手ともプロ契約するようになり、現在では藤田慶和や金井健雄など5人に増加。環境整備にも力を注ぎ、社員選手もより競技に集中できるようになった。チームの強化に加えて、いままでも重視していなかった地元へのアピールも貪欲に行なっている。

「これまでは社員を盛り上げるのがメインでしたが、5年前から対外的な発信を行なうスタッフをつけ、地域との関わりを強化しました。スタジアムの器は小さいですが、地元の人たちと接点を持つための活動は数多く行なっています。例えば地域の行政や教育委員会に積極的に売り込んだことで、ヒートは三重県のい

LEAGUE ONE 2023-24

W杯後の新たな挑戦

熊崎敬 = 文
text by Takashi Kumazaki



キャプテンとして2季目を迎える古田の言葉は力強かった

じめ防止サポーターに認定され、小学校の道徳の授業に選手が呼ばれるようになりました。今年だけでも30校以上に足を運んでいます」

積極的に外に出ることで、前田GMは「選手たちの対応力が上がった」とその効果を語る。

「大勢の前に出て話をする、目の前のだれかを喜ばせるといった活動をする中で、選手たちがメキメキと対応力を伸ばしていききました」

こうしたフィールド内外での取り組みが実を結んだのが、前述した入替戦だ。ヒートはグリーンロケッツに臆することなく立ち向かい、僅差で死闘を制した。実績のある外国人選手や日本人のプロ選手たちが厳しい局面でもたくましくチームを牽引し、社員選手たちと一丸となって勝利をたぐり寄せた。

勝因はグラウンド外にもある。敵地で行なわれた入替戦第2戦では、実に500人ものファンが地元鈴鹿市から千葉県柏市に駆けつけ、スタ

ンドを赤く染めた。大一番での歴史的勝利によって、地元とのきずなはより強くなったと言えそう。

リーグワンで初めてD1を戦うヒートが目標とするのは上位定着。その切り札が前出のクロリー新HCだ。62歳の名伯楽に白羽の矢を立てた前田GMが、人選の意図を語る。

「彼を選んだ最大の理由は、行くチーム行くチームで長期スパンでしっかり結果を出しているところですね。長く親身になってチームを愛してくれる指導者を探していた私たちにとって、彼の実績、経験、人間性は申し分ないものでした。62歳とは思えない行動力と情熱があり、彼に力を貸してもらったことでした」

近年、ウェルズを破るなど大物食いの実績もある新HCの就任に期待は高まるばかりだが、前田GMはまったく楽観視していない。

「過去の経験から、昇格したシーズンの厳しさは覚悟しています。若く未熟なウチとしては、連敗が続いても信念だけは忘れず、最後まで粘り強く戦うことがもつとも大切になると思います。代表経験の少ない無名の雑草集団として、私たちは泥くさく食らいつくだけです」

キャプテン就任2季目の古田凌は、チームを代表して力強く語った。「みなさんには80分間、最後の最後まであきらめない姿を見てほしいです。D1は目標としてきた舞台なのでやっつたるぞ! という気持ちでいっばいぞ!」

情熱の挑戦者、ヒートがD1の牙城に風穴を開けようとしている。■

熊崎敬 = 文
text by Takashi Kumazaki

NECグリーンロケッツ東葛

[今季目標は全勝優勝]

「ディビジョン2降格の屈辱を超えて」

長年トップカテゴリーで戦ってきたグリーンロケッツは、昨季ディビジョン2に降格した。失意を挑戦の決意に変え、今季は全勝優勝でのディビジョン1返り咲きを狙う。

2
DIVISION

37歳にしてディビジョン2での戦いに決意を新たにする瀧澤。チーム加入は2010年とチーム最古参組の一人でキャプテンを務めたこともある



Takayuki Fuchi

「負けた瞬間はショックが大きすぎて、自分のこととは思えないような気さえました。陳腐に聞こえるかもしれませんが、ぼくたちは絶対的に勝てる、そう思えるくらい万全の準備をして臨んだので……」

瀧澤直が苦渋の表情で振り返るのは、昨季最後のゲームとなった入替戦。2試合合計で6点届かなかったNECグリーンロケッツ東葛は、ディビジョン2（D2）への降格を余儀なくされた。トップリーグ初年度から1部の座を守ってきた伝統のチームは今季、いつもと違うD2で戦う。

だが、タッキーの愛称で親しまれる37歳の大ベテランは、前向きに捉えようとしている。

「ウチはずっと1部にいましたが、それでも低空飛行が続いていたわけ、落ちなければ大丈夫という意識

が沁みついていたのかもしれない。そうした流れは本来ならリーグワンが始まったときに断ち切るべきだったと思いますが、今回はもう奮起するしかない。そんな機会を、会社もチームも、もちろんぼく個人も与えられたのだと捉えています」

グリーンロケッツは、1年でのD1復帰を目標に掲げている。それも全勝優勝での返り咲きだ。

「言葉として頻繁に飛び交っているわけじゃないですが、全勝を強く意識しているのは間違いありません。最終的な順位が1位というだけではなく、すべての試合に勝つ。それくらいじゃないと、自信を持ってD1で戦うことはできないですから」

全勝優勝での昇格には、ふたつの質の強さが求められる。目の前の敵を上回る相対的な勝負強さ、そして

リーグ全体を圧倒する絶対的な強さだ。この高いハードルをクリアするため、彼らは例年になく貪欲な取り組みを行ってきた。その中心にいるのが、今季新たに就任したHCのウェイン・ピヴァックとコーチのポール・フィニーだ。

瀧澤によると、チーム全体を統括するウェインと、主に戦術を担当するポールの指導は好対照だという。

「ウェインはHCなので全体をオーガナイズする立場でもありますが、彼はとにかくコンタクト・トレーニングが好きなんです。コンタクト練習の量と質は、昨季と比べて明らかに上がっていますね」

一方のポールは、クリエイティブな面にかなり注力しているという。

「ボールの指導する戦術はかなり複雑で、ぼくたちベテランでも簡単に実践できず、戸惑うこともあります。でも、これを身につければものすごくクリエイティブなラグビーができるんじゃないか、そんなワクワク感があるんです」

つまり今季のグリーンロケッツは、例年以上の強度と戦術性を備えたスケールの大きなチームを目指している、そこに瀧澤もたしかな手助けを感じているのだ。

「ぼくたちは初めてD2を戦いますが、いい意味でそのことをあまり意識していないんです。D2だからこの程度でいいといった妥協は一切なく、どうすればより良いラグビーができるか。自分たちのラグビーの質にフォーカスしているんです」

理想のラグビーをひたすら突きつ

める、妥協なき姿勢。それはどこか甘さのあった、グリーンロケッツを変えられたい。

チーム在籍14季目を迎える瀧澤には、過去に2度、プレイヤーとして充実した時期があった。キャプテンを務めた2014年からの3年間とトップリーグ最後のシーズンとなった21年だ。だが、そこにはほろ苦い記憶もつきまとう。自身でも驚くほど身体は動いたが、チームを上位に導くことができなかったからだ。

「そこがチームスポーツの難しさであり、面白さでもあるんですが」と苦笑しながら瀧澤は言う。

「ひとつでも多くゲームに出て、そこでいいプレーをすることでチームが勝つ。個人としてだけでなく、チームとしても充実感を得られるようなシーズンになったら最高です」

入替戦敗北から始まった再起への道。D2に臨む今季は、のちに「あの日々があったから」と語り継がれるシーズンになるかもしれない。■



昨季の降格決定にレキキロマノワは涙を止められなかった



Takayuki Fuchi

引退を思いとどまり、39歳にしてキャプテンの重責を担う笠原（右）と、新たにHCに就任した苑田。共に強い決意と覚悟を胸に今季に臨む

3 DIVISION

HINO RED DOLPHINS

日野レッドドルフィンズ

【新体制で目指すもの】

「どん底からの再出発」

昨年の不祥事により、今季のレッドドルフィンズはディビジョン3からの再出発となった。過去に欠けていた規律と文化を強く意識し、チーム一丸となって未来へ踏み出す。

昨秋の合宿中に不祥事を起こした日野レッドドルフィンズは、7月に苑田右二をヘッドコーチとする新体制を発表し、全体練習を5カ月ぶりに再開した。

新キャプテンに任命されたのが笠原雄太、39歳だ。昨季限りで引退するつもりだったが、新体制でリーダー役を求められたことで現役続行を決断した。

「まあ、ああいう出来事が起きてもしょうがないかなって……」

チームの活動再開を受け、まささにな気持ちで見渡したグラウンド。その光景に違和感を覚えたという。

「何年も使われてないスクラムマシンが放置されて。ラグビーがどうのこうのっていうより、グラウンドをきれいに使うこともできていない。そういうところが、ああいう出来事に

につながってしまったんじゃないか」端的にいえば規律の欠如だ。日常の風景に溶け込む緩みに、事が起こるまで気づけなかった。

選手らに呼びかけて不要な物を撤去し、ウエイト場やロッカールームに転がっていたゴミを拾った。選手やスタッフ同士、顔を合わせたらしつかり挨拶することもあらためて徹底。「意識するだけじゃ絶対に変わらないんで」。具体的な行動で新しい基礎を築こうと奮闘中だ。

「人数が減ったぶん一体感はずりやすい。ピンチをチャンスと捉えて、まとまりのあるチームになれば」

新ヘッドコーチの苑田も、この危機をあえて好機と位置づける。「チームをどう良くしていくか。変えられるチャンスを得たのだと前向きに考えています」

LEAGUE ONE 2023-24

W杯後の新たな挑戦

日比野恭三 = 文
text by Kyozo Hibino



プレシーズンマッチでは、釜石シーウェイブスに快勝した

HINO RED DOLPHINS

法政大学から神戸製鋼と現役時に渡り歩いたチームを、指導者となつてからは逆にたどった。日野にやってきたのは2021年。当初はアカデミーコーチだったこともあり、トップチームと行動を共にしてから1年ほどしか経っていない。だからこそ、チームの現状が客観的に見える。苑田は言う。

「昨季はペナルティの数が1試合平均16・2で、ほかのチームの倍くらいありました。そのあたりも含めて、どういう文化をもって発展していくかがすごく重要だと思う」

まずはミーティングに時間を割いた。選手たちに、チーム、日野自動車、日野市それぞれの歴史を調べてプレゼンさせる機会を設けたのは「それを学ばないと薄っぺらいチームになる」と考えたから。そのうえで自らが進むべき方向性を定めた。「TAP」というスローガンを決めたんです。強く・愛され・この街の誇りとなるチームになろう、と。

PはProud。TとAは日本語（ローマ字表記の頭文字）なんですけどね」TAPには文字通り「手と手を合わせる、ハイタッチする」の意味も込めた。組織においては往々にして、小さな過ちが見逃ごされたすえに、大きな問題に発展する。互いの手を打ち鳴らす習慣は「みんなが常にながかりを持ってケアし続ける」その確認作業として行われている。

活動再開以降、変化は着実に表れている。キャプテンの笠原が言う。「自主的にトレーニングする選手が増えました。釜石シーウェイブスとのプレシーズンマッチ（10月1日）でも、まとまりのあるところを見せられたし、気持ちが伝わるようなチームスタイルになってきていると思います」

その釜石戦は前半を38-0で折り返し、結果は43-14の快勝。「今季はディビジョン1のクオリティでラグビーをしていく」と誓う苑田も手応えを得た。

ただ笠原は、試合結果より「目の前のことだけに集中したい」と話す。「うちは歴史は長いけど、チームとしての文化と伝統、そういう基礎の部分がまだまだ出ていない。そこをしっかりとつくらなきゃ、またガラツて崩れてしまう。今年、近い将来にリーダーになるような若い選手がいっぱい入ってきたんです。だから僕としては、チームに良い文化を残せたらいいなって思っています」

今季、ディビジョン3から再出発する。チーム一丸の戦いを見せることが、未来への第一歩だ。

Conference A DIVISION 1

チーム紹介 | デイビジョン1

多羅正崇 = 文
text by Masataka Tara



FL
PETER "L" APPLES
LABUSCHAGNE

クボタスピアーズ船橋・東京ベイ



TEAM DATA

①1978年 ②D1・1位 ③クボタ船橋グラウンド / 千葉県船橋市栄町2-16-1 ④東京都江戸川区、中央区、千葉県市川市、船橋市、千葉市、市原市、成田市 ⑤石川充 ⑥フランクルディケ ⑦クボタ

PICKUP PLAYER

ピーター“ラピース”ラプスカフニ

1989年1月11日、南アフリカ生まれ。常に身体を張り続け、メンタル的にもタフなFW第3列。2019年7月に日本代表デビューし、同年のW杯では2試合でゲームキャプテンを務めた。2023年W杯は3試合に出場。189cm、106kg

自慢の攻撃で初戴冠。連覇に向け体制は盤石だ。

昨季は悲願の初優勝。伝統の重戦車スタイルに加え、近年はバックスの決定力が向上。636得点はリーグ最多だった。自由闊達なクラブ風土の下で若手が躍動する好循環が生まれており、2021年度から2季連続で新人王を輩出。ルーキーの木田晴斗は16トライを挙げる活躍で日本代表に初招集された。今季は主将8季目の立川理道、元オーストラリア代表バーナード・フォーリーなど初優勝メンバーが多数残る。連覇は射程圏内だ。

HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月10日(日)
vs. 東京サントリ-サンゴリアス [秩父宮]
第3節 12月24日(日)
vs. 静岡ブルーレヴズ [ヨドコウ]
第8節 3月3日(日)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ [秩父宮]
第9節 3月9日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ [花園]
第11節 3月22日(金)
vs. 埼玉パナソニックワイルドナイツ [秩父宮]
第12節 4月7日(日)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京 東京都内
第14節 4月21日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [札幌下]
第15節 4月27日(土)
vs. 三重ホンダヒート 東京都内



コベルコ神戸スティーラーズ

捲土重来を期してトップ一新。創造的ラグビーの発揮なるか。

昨季はトップリーグ時代も含め歴代最低の9位に終わった。1980～90年代に日本選手権V7の名門は捲土重来を期すべく首脳陣を一新。新指揮官に豪州代表を率いたデイブ・レニーを迎えた。主軸は日本代表の具智元、サウマキアマナキ、山中亮平、そしてクラブのDNAである「クリエイティブラグビー」を牽引する司令塔の李承信。新加入するNZ代表で世界最優秀選手の主軸アーディ・サベアは活躍必至。狙うは2018年度以来の王座獲得だ。

TEAM DATA

①1928年 ②D1・9位 ③灘浜グラウンド / 兵庫県神戸市東灘区御影浜町4 ④兵庫県神戸市 ⑤福本正幸 (チームディレクター) ⑥デイブ・レニー ⑦神戸製鋼所

PICKUP PLAYER

具智元

1994年7月20日、韓国生まれ。元韓国代表プロップの父を持つ、日本が世界に誇る3番。2017年に代表デビュー。2019年W杯後に日本国籍取得。2021年に加入。2023年W杯でも日本のスクラムの安定に大きく寄与。183cm、118kg



PR
JIMWON GU

HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月9日(土)
vs. 三重ホンダヒート [ノエスタ]
第3節 12月24日(日)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京 [ノエスタ]
第5節 1月14日(日)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [ノエスタ]
第8節 3月3日(日)
vs. トヨタヴェルブリッツ [花園]
第10節 3月16日(土)
vs. 埼玉パナソニックワイルドナイツ [ユニバ]
第11節 3月24日(日)
vs. 花園近鉄ライナーズ [ユニバ]
第12節 4月7日(日)
vs. 東京サントリ-サンゴリアス [ユニバ]
第15節 4月27日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ 大阪府内



No.8

静岡ブルーレヴズ

TEAM DATA

①1984年 ②D1・8位 ③ヤマハ大久保グラウンド / 静岡県磐田市大久保891-106 ④静岡県 ⑤山谷拓志 ⑥藤井雄一郎 ⑦ヤマハ発動機

PICKUP PLAYER

クワガ・スミス

1993年6月11日、南アフリカ生まれ。攻守両面で決定的な仕事をするゲームチェンジャー。スピードに優れ、ジャッカルも得意とする。2018年に加入。2019年大会から母国のW杯連覇に貢献。主将として2季目を迎える。181cm、91kg

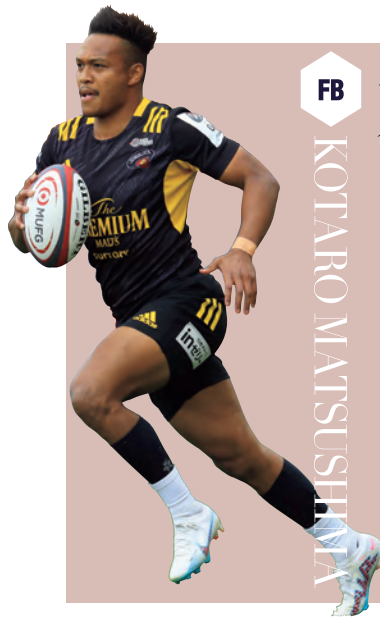
ジャパンの首脳陣を招聘。セットプレーの一層の向上を図る。

ヤマハ発動機時代からスクラムとラインアウトのセットプレーが最大の武器。昨季第15節で公式戦47戦無敗の埼玉WKに勝利するなど、格上を撃破するタフさもある。中位脱却を狙う今季は、指揮官に元日本代表ナショナルチームディレクターの藤井雄一郎を招聘。W杯2大会でスクラム強化を担当した長谷川慎はアドバイザー職から現場復帰する。フランカー庄司拓馬やスタンドオフ家村健太など若手も台頭。総合力は上向きだ。



HOST GAME SCHEDULE

第2節 12月17日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [ヤマハ]
第5節 1月13日(土)
vs. 東京サントリ-サンゴリアス [ヤマハ]
第6節 1月27日(土)
vs. 花園近鉄ライナーズ [ヤマハ]
第8節 3月2日(土)
vs. 埼玉パナソニックワイルドナイツ 静岡県内
第11節 3月23日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ 静岡県内
第12節 4月6日(土)
vs. 三重ホンダヒート 静岡県内
第13節 4月13日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ 静岡県内
第16節 5月5日(日)or 6日(月)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京 静岡県内



FB

KOTARO MATSUSHIMA

東京サントリーサンゴリアス

TEAM DATA

①1980年 ②D1・4位 ③サントリー府中スポーツセンター／東京都府中市是政6-22 ④東京都、港区、府中市、調布市、三鷹市 ⑤大久保尚哉 ⑥田中澄憲 ⑦サントリーホールディングス

PICKUP PLAYER

松島幸太郎

1993年2月26日、南アフリカ生まれ。父はジンバブエ人、母は日本人。2013年加入。2014年に代表デビューし、2015年からW杯3大会連続出場。2019年大会ではスピード溢れる突破から、「フェラーリ」と称された。177cm、87kg

超攻撃型ラグビーの名門に W杯優勝＆準優勝国の主力加入。

全局面からトライを狙う超攻撃型「アグレッシブ・アタッキング・ラグビー」を標榜する。トップリーグで5度優勝した名門で、2023年W杯の日本代表は流大、松島幸太郎など7人。優勝を命題とするタレント軍団にとって昨季の4位は不本意だろう。今季は補強もアグレッシブ。南アフリカ代表チェスリン・コルビ、ニュージーランド代表主将サム・ケインと二枚看板の獲得に成功。2017年度以来の優勝へ、2季目の田中澄憲監督が勝負に挑む。



HOST GAME SCHEDULE

第2節 12月17日(日)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京 [味スタ]
第4節 1月6日(土)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [秩父宮]
第8節 3月2日(土)
vs. リコーブラックラムズ東京 [秩父宮]
第9節 3月9日(土)
vs. 花園近鉄ライナーズ [秩父宮]
第11節 3月23日(土)
vs. 横浜キャノンイーグルス [秩父宮]
第13節 4月13日(土)
vs. 三重ホンダヒート 東京都内
第14節 4月19日(金)
vs. 静岡ブルーレヴズ 東京都内
第16節 5月4日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ 東京都内



東芝ブレイブルーパス東京

5度の優勝を誇る強豪は 完全復活に向けて積極補強。

トップリーグで5度優勝を誇る強豪の伝統として、コンタクトの激しさにプライドを持つ。昨季は5位に終わりプレーオフ進出を逃したが、完全復活への本気度は補強に窺える。新戦力のシャノン・フリゼル、リッチー・モウンガはニュージーランド代表の主力。2023年W杯の日本代表メンバー、ワーナー・ディアンズとジョネ・ナイカブラ、そして不動のリーダー、リーチマイケルらが融合したチームが、2009年度以来の載冠を目指す。

TEAM DATA

①1948年 ②D1・5位 ③東芝府中事業所敷地内グラウンド／東京都府中市東芝町1 ④東京都、府中市、調布市、三鷹市、川崎市(フレンドリー) ⑤薫田真広 ⑥トッド・ブラックアダー ⑦東芝

PICKUP PLAYER

リーチマイケル

1988年10月7日、ニュージーランド生まれ。留学生として札幌山の手高に入学。東海大時代の2008年に代表デビュー。2015年から3季、NZのチーフスに所属。W杯4大会連続出場を果たした日本ラグビーの象徴。188cm、113kg

No.8

MICHAEL LEITCH



HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月9日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ [味スタ]
第4節 1月7日(日)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [等々力]
第5節 1月14日(日)
vs. 三重ホンダヒート [秩父宮]
第7節 2月24日(土)
vs. 横浜キャノンイーグルス [秩父宮]
第10節 3月17日(日)
vs. 三菱重工相模原ダイナポアーズ [秩父宮]
第11節 3月24日(日)
vs. リコーブラックラムズ東京 [秩父宮]
第13節 4月14日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ 東京都内
第15節 4月27日(土)
vs. 東京サントリーサンゴリアス 東京都内

LO

FRANCO MOSTERT

三重ホンダヒート

TEAM DATA

①1961年 ②D2・2位 ③Hondaアクトブランド／三重県鈴鹿市住吉町6731-2 ④三重県 ⑤前田芳人 ⑥キアラン・クローリー ⑦本田技研工業 鈴鹿製作所

PICKUP PLAYER

フランコ・モスタート

1990年11月27日、南アフリカ生まれ。2020年に加入。決して妥協しない職人肌のロックで、昨季は13試合出場と粉骨砕身。昇格に貢献後、母国代表として2023年W杯の6試合に出場。2大会連続で世界一を経験した。197cm、107kg

今季唯一の昇格チーム。 まずは定着へ堅実な足場を。

唯一のD1昇格チーム。昨季はD2で2位に終わったが、入替戦でGR東葛を破り悲願達成。攻撃を牽引するのは電撃的なスプリンターである元オーストラリア代表のトム・バンクス。今季は東京SGから俊足デビタ・リーが加わり得点源が増えた。守備の要は南アフリカ代表のフランコ・モスタート。昨季はD2最多127タックルを記録した。新指揮官に2023年W杯でイタリアを率いたキアラン・グローリーを迎え、D1定着へ堅実な足場を築きたい。



HOST GAME SCHEDULE

第2節 12月16日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [鈴鹿]
第3節 12月24日(日)
vs. 東京サントリーサンゴリアス [鈴鹿]
第4節 1月7日(日)
vs. 静岡ブルーレヴズ [鈴鹿]
第8節 3月1日(金)
vs. 横浜キャノンイーグルス [秩父宮]
第9節 3月10日(日)
vs. リコーブラックラムズ東京 [鈴鹿]
第11節 3月24日(日)
vs. 三菱重工相模原ダイナポアーズ [鈴鹿]
第14節 4月21日(日)
vs. 東芝ブレイブルーパス東京 [鈴鹿]
第16節 5月4日(土) or 5日(日) or 6日(月)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ 未定

Conference B DIVISION 1

チーム紹介 | デイビジョン1

text by Masataka Tara

HO

SHOTAHORIE



埼玉パナソニックワイルドナイツ

TEAM DATA

①1960年 ②D1・2位 ③さくらオーバルフォート / 埼玉県熊谷市上川上844 ④埼玉県 ⑤飯島均 ⑥ロビン・ディーンズ ⑦パナソニック

PICKUP PLAYER

堀江翔太

1986年1月21日、大阪府生まれ。島本高、帝京大を経て2008年に加入。後半に出場し戦況を一変させる活躍ぶりから「ラスボス」の異名を取るリーグワン初代MVP。4大会目となった2023年W杯は全4戦に出場。180cm、104kg

リーグワン初代王者は今季も変わらず優勝候補。

堅固なウイニングカルチャーを持つリーグワン初代王者は昨季、公式戦47戦無敗（不戦敗を除く）の記録を樹立。プレーオフ決勝では珍しくミスを多発し、惜しくも連覇を逃したが、2023年W杯の日本代表に最多11人を送り込んだ選手層の厚さは健在。稲垣啓太、松田力也など4年後のW杯を狙える桜の戦士を多数揃える。堅守速攻のスタイルを支える守備力はリーグ随一で、昨季の270失点は断トツで最少だった。今季も有力な優勝候補だ。



HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月10日(日) vs. 横浜キャノンイーグルス 熊谷
第3節 12月23日(土) vs. リコーブラックラムズ東京 熊谷
第4節 1月6日(土) vs. トヨタヴェルブリッツ 熊谷
第6節 1月20日(土) vs. 三重ホンダヒート 熊谷
第7節 2月17日(土) vs. 東京サントリリーサンゴリアス 熊谷
第9節 3月9日(土) vs. 東芝プレイブルーパス東京 熊谷
第12節 4月6日(土) vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ 埼玉県内
第15節 4月27日(土) vs. 花園近鉄ライナーズ 埼玉県内



トヨタヴェルブリッツ

世界最高のハーフ団を加えて悲願の初タイトル獲得へ。

一昨季から順位は5、6位。日本代表の姫野和樹主将を筆頭に戦力はリーグ屈指だが、それに見合わない成績が続く。2季連続で阻まれた4強の壁を突破すべく、今季は大型補強を敢行した。ニュージーランド代表のアロン・スミスとボーデン・バレットを獲得。世界最高峰のゲームメーカーが2枚揃い、強力FWを活かした伝統スタイルが進化しそうだ。強力な新戦力を得て、チームは中位脱却、そして悲願の初優勝へ到達できるか。

TEAM DATA

①1941年 ②D1・6位 ③トヨタスポーツセンター / 愛知県豊田市保見町井ノ向57-230 ④愛知県豊田市、名古屋市、みよし市 ⑤後藤彰友 ⑥ベン・ヘリング ⑦トヨタ自動車

PICKUP PLAYER

姫野和樹

1994年7月27日、愛知県生まれ。2017年に加入。2021年はNZのハイランダーズでプレー。共同主将を務めた昨季はベスト15を受賞。2023年W杯には日本代表主将として臨み、出場全3試合でターンオーバーを記録。187cm、108kg

FL

KAZUKI HIMENO



HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月9日(土) vs. リコーブラックラムズ東京 浜田
第3節 12月23日(土) vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ 浜田
第6節 1月27日(土) vs. 東芝プレイブルーパス東京 愛知県内
第7節 2月17日(土) vs. 三重ホンダヒート 浜田
第10節 3月16日(土) vs. 東京サントリリーサンゴリアス 愛知県内
第12節 4月6日(土) vs. 花園近鉄ライナーズ 長良川
第14節 4月20日(土) vs. 埼玉パナソニックワイルドナイツ 愛知県内
第15節 4月27日(土) vs. 横浜キャノンイーグルス 愛知県内

SO

QUADR COOPER



花園近鉄ライナーズ

TEAM DATA

①1929年 ②D1・12位 ③大阪市花園ラグビー場 / 大阪府東大阪市松原南1-1-1 ④東大阪市、大阪府 ⑤飯泉景弘 ⑥向井昭吾 ⑦近鉄グループホールディングス

PICKUP PLAYER

クウェイド・クーパー

1988年4月5日、ニュージーランド生まれ。13歳で移住したオーストラリアで代表79キャップを重ねた天才司令塔。2019年加入の近鉄では不動の精神的支柱。昨季は入替戦で攻守にわたり活躍し、降格危機を救った。187cm、90kg

下位脱出のためにはディフェンスの整備が急務。

昇格初年度の昨季は1勝15敗。最下位で入替戦に回ったものの、D1に踏み止まった。下位脱出を狙う今季は、元日本代表監督の向井昭吾をHCに迎えて再建を託す。まずは昨季ワーストの854失点を許した守備の再整備が急務だ。攻撃面は元オーストラリア代表の司令塔コンビ、ウィル・ゲニアとクウェイド・クーパーが頼もしいが、主力だった日本代表のシオサイア・フィフィタがトヨタに移籍。新たなトライゲッターの台頭が待たれる。



HOST GAME SCHEDULE

第2節 12月17日(日) vs. 埼玉パナソニックワイルドナイツ 花園
第5節 1月14日(日) vs. トヨタヴェルブリッツ 花園
第7節 2月24日(土) vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ 花園
第8節 3月2日(土) vs. 東芝プレイブルーパス東京 花園
第10節 3月17日(日) vs. 三重ホンダヒート 花園
第13節 4月12日(金) vs. 横浜キャノンイーグルス 大阪府内
第14節 4月21日(日) vs. リコーブラックラムズ東京 大阪府内
第16節 5月5日(日) vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ 大阪府内



FL

YUSUKE SAKAMOTO

三菱重工相模原ダイナボアーズ



TEAM DATA

①1971年 ②D1・10位 ③三菱重工相模原グラウンド／神奈川県相模原市中央区田名3000 ④神奈川県、相模原市 ⑤石井晃 ⑥グレン・ディレーニー ⑦三菱重工業

PICKUP PLAYER

坂本侑翼

1998年10月25日、千葉県生まれ。実直な性格で流通経済大では主将を務めた。2021年に加入。昨年タックル成功182回はリーグ2位。入団2季目でブレイクした弾丸タックラーだ。今年8月にはパーヴァリアンズに選出。176cm、95kg

セットプレーの安定で再び旋風を起こせるか。

昨季は昇格1季目ながら旋風を巻き起こした。開幕5戦で3勝と好スタート。DFコーチから昇格のグレン・ディレーニーHCによるタフなチーム作りが奏功し、BL東京からチーム史上初勝利を奪取した。リーグ戦後半の失速で10位に終わったが、D1基準の足場は固めた。上位を狙う今季は、元ニュージーランド代表のベン・フランクスがアシスタントコーチに就任。スクラムとラインアウトの安定性向上が期待できそうだ。

HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月9日(土)
vs. 花園近鉄ライナーズ [ギオンズ]
第4節 1月7日(日)
vs. 横浜キャノンイーグルス [秩父宮]
第5節 1月13日(土)
vs. 埼玉パナソニックワイルドナイツ [ギオンズ]
第6節 1月20日(土)
vs. 東京サンダーサンゴリアス [ギオンズ]
第7節 2月24日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ [ギオンズ]
第9節 3月10日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [ギオンズ]
第13節 4月13日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ [かきどまり]
第15節 4月27日(土) or 28日(日)
vs. リコーブラックラムズ東京 未定



横浜キャノンイーグルス

SH

FAH DE KLERK



バックスはリーグ最強クラス。今季は「4強以上」を目指す。

新時代の4強に駆け上がったアタッキングチーム。2020年に就任した沢木敬介監督の強化が実を結び、昨季はD1最多タイの84トライを挙げ、過去最高の3位に入った。バックスの攻撃力はリーグ最強クラスを誇る。南アフリカ代表のファフ・デクラークとジェシー・クリエルが積極的に仕掛け、昨季13トライのウィング、イノケ・ブルアが仕留める。今季はFWの選手層も増強。初タイトル獲得への準備が着々と進んでいる。

TEAM DATA

①1980年 ②D1・3位 ③キャノンスポーツパーク／東京都町田市小野路町5290-1 ④神奈川県横浜市／大分県(セカンダリー) ⑤永友洋司 ⑥沢木敬介 ⑦キャノン

PICKUP PLAYER

ファフ・デクラーク

1991年10月19日、南アフリカ生まれ。母国のW杯連覇の原動力となった超攻撃型ゲームメーカー。2022年に加入し、昨季は強気の仕掛けとFW並みの鉄壁ディフェンスで、チーム過去最高の3位躍進に大きく貢献。171cm、80kg

HOST GAME SCHEDULE

第2節 12月16日(土)
vs. トヨタヴェルブリッツ [日産]
第3節 12月23日(土)
vs. 花園近鉄ライナーズ [ニッパツ]
第5節 1月13日(土)
vs. リコーブラックラムズ東京 [ニッパツ]
第6節 1月27日(土)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [ニッパツ]
第9節 3月9日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ [レゾド]
第10節 3月15日(金)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [秩父宮]
第14節 4月20日(土)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ 東京都内
第16節 5月4日(土)
vs. 埼玉パナソニックワイルドナイツ [レゾド]

No.8

AMATO FAKATAVA



リコーブラックラムズ東京

Black Rams Tokyo



TEAM DATA

①1953年 ②D1・7位 ③リコー総合グラウンド／東京都世田谷区宇奈根1-5-1 ④東京都、世田谷区 ⑤西辻勤 ⑥ピーター・ヒューワット ⑦リコー

PICKUP PLAYER

アマト・ファカタヴァ

1994年12月7日、トンガ生まれ。大東文化大学から2019年に加入。トライ嗅覚に優れたFW第3列で、ロックとしてもプレー可。2023年6月に日本代表に初招集され、W杯全4試合に出場したシンデレラボーイだ。195cm、118kg

新星ファカタヴァを軸に上位進出できる底力あり。

結束がもたらす防御力に定評がある。昨季は7位だったが、失点は5番目に少なかった。世界的な有名選手こそ少ないが、FWはフッカー武井日向をはじめ運動量豊富。中でもアマト・ファカタヴァは2023年W杯の日本代表にチームで唯一選出された期待の星。本大会では初戦の最優秀選手に選ばれるなどジャパンの主軸に飛躍した。バックスには司令塔アイザック・ルーカスら俊足が揃う。攻撃力が増大すれば上位進出できる底力がある。

HOST GAME SCHEDULE

第2節 12月16日(土)
vs. 三菱重工相模原ダイナボアーズ [駒沢]
第4節 1月6日(土)
vs. 花園近鉄ライナーズ [夢の島]
第6節 1月27日(土)
vs. クボタスピアーズ船橋・東京ベイ [駒沢]
第7節 2月25日(日)
vs. コベルコ神戸スティーラーズ [駒沢]
第10節 3月16日(土)
vs. 静岡ブルーレヴズ [秩父宮]
第12節 4月6日(土)
vs. 横浜キャノンイーグルス [駒沢]
第13節 4月12日(金)
vs. 埼玉パナソニックワイルドナイツ 東京都内
第16節 5月5日(日)
vs. トヨタヴェルブリッツ 東京都内



SH
RENINUMA

浦安D-Rocks

TEAM DATA
 ①2022年 ②D2・1位 ③浦安Dパーク / 千葉県浦安市高洲8-2-1 ④千葉県浦安市 ⑤内山浩文 ⑥ヨハン・アッカーマン ⑦NTT Sports X

PICKUP PLAYER
飯沼蓮
 2000年2月8日、山梨県生まれ。日川高、明治大を経て2022年に加入。強気なリードでゲームをコントロールするアタッキングハーフだ。大卒ルーキーだった昨季に続き、2シーズン連続でキャプテンの重責を担う。170cm、75kg

昨季17戦無敗も入替戦で涙。2度目の“壁越え”に挑む。
 今季こそD1の壁を越えられるか。新チームとして誕生した昨季は、南アフリカ出身の名将ヨハン・アッカーマンHCが個人に頼らぬハードな全員ラグビーを徹底し、練習試合を含めて17戦無敗。下馬評通りの強さでD2王者となったが、花園Lとの入替戦で連敗。レッドを含む計5枚のカードに苦しんだ。今季は規律面を見直し、オーストラリア代表のサム・ケレビ獲得でさらに選手層を増強。渾身の力で2度目の“壁越え”に挑む。



HOST GAME SCHEDULE
 第2節 12月16日(土)
 vs. 九州電力キューデンヴォルテクス **えどりく**
 第4節 1月13日(土)
 vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 **オリブリ**
 第5節 2月3日(土)
 vs. レッドハリケーンズ大阪 **駒沢**
 第6節 2月17日(土)
 vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス **大和**
 第10節 3月30日(土) or 31日(日)
 vs. NECグリーンロケッツ東葛 宮城県内



NECグリーンロケッツ東葛

唯一の降格チームは攻撃改善でD1 振り返りへ。
 昨季は実に4年振りとなる開幕戦での勝利を挙げ、チームの象徴「ロケット」にふさわしい爆速スタート。しかしリーグ最少295得点の攻撃力が響き、D1唯一の降格チームに。母体NECは企業スポーツのビジネス化に転換しており、集客が見込めるD1への復帰は至上命令だ。再建請負人は、昨年成績不振によりウェールズ代表HCを解任されたウェイン・ピヴァック。プライドに傷を負った男たちが、D1への振り返りを期して逆襲に出る。

TEAM DATA
 ①1985年 ②D1・11位 ③NEC我孫子グラウンド / 千葉県我孫子市日の出1131 ④千葉県我孫子市、柏市、松戸市、流山市、野田市、鎌谷市、印西市、白井市 ⑤辻高志(アシスタントGM) ⑥ウェイン・ピヴァック ⑦日本電気

PICKUP PLAYER
レメキロマノラヴァ
 1989年1月20日、ニュージーランド生まれ。20歳で来日して国内4チームを経て2021年7月に加入。昨季は主将を務めた。2023W杯では元7人制代表のスキルを活かし全4試合で活躍。2014年に日本国籍を取得した。178cm、96kg



WTFB
LEMEKILOMANOLAVA

HOST GAME SCHEDULE
 第1節 12月9日(土)
 vs. 浦安D-Rocks **柏の葉**
 第3節 12月23日(土)
 vs. 九州電力キューデンヴォルテクス **柏の葉**
 第5節 2月4日(日)
 vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス **柏の葉**
 第8節 3月10日(日)
 vs. レッドハリケーンズ大阪 **柏の葉**
 第9節 3月24日(日)
 vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 **柏の葉**



WTFB
KODAI ONO

日本製鉄釜石シーウェイブス

TEAM DATA
 ①2001年 ②D2・4位 ③釜石市球技場(松倉グラウンド) / 岩手県釜石市甲子町第10地割159-4 ④岩手県釜石市 ⑤桜庭吉彦 ⑥須田康夫 ⑦日本製鉄

PICKUP PLAYER
小野航大
 1991年12月15日、福島県生まれ。磐城高、東海大を経て2014年に加入。入団1年目から2017年度まで全試合に先発。東北を代表する鉄人トライゲッターだ。昨季はキャプテンを務め、6トライの活躍で残留に貢献した。170cm、82kg

屈指の地域浸透度を生かし“劇的昇格”を見据える。
 人口約3万の岩手県釜石市が拠点の攻撃型チーム。土壇場に強く、過去2季は土俵際の“劇的残留”。昨季の入替戦は10点差の逃げ切りだった。今季よりメインスポンサーの日本製鉄をチーム名に冠し、初の3位以上を狙う。前身は1978～84年度に日本選手権V7を達成した新日鐵釜石であり、地域浸透度はリーグ屈指。約半数はプロ選手だが、兼業選手は釜石市役所や地元企業に勤務。地域一体型の強化の先に“劇的昇格”も見据えている。



HOST GAME SCHEDULE
 第1節 12月10日(日)
 vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 **釜石復興**
 第3節 12月24日(日)
 vs. 浦安D-Rocks **ハワスタ**
 第7節 3月3日(日)
 vs. NECグリーンロケッツ東葛 **釜石復興**
 第8節 3月10日(日)
 vs. 九州電力キューデンヴォルテクス **釜石復興**
 第9節 3月24日(日)
 vs. レッドハリケーンズ大阪 **いわスタ**

No.8

YAKUYA ALEX WALKER



九州電力キューデンヴォルテクス



TEAM DATA

①1951年 ②D3・2位 ③九州電力
香椎競技場 / 福岡県福岡市東区松
香台1-4-1 ④福岡市 / 九州全域
(フレンドリー) ⑤村上龍寛 ⑥今村
友基(HC代行) ⑦九州電力

PICKUP PLAYER

ウォーカーアレックス拓也

1998年2月19日、豪州生まれ。3歳で
母の故郷である日本に移住。東福岡高
から法政大を卒業後、ウェールズでキ
ャリアを積む予定が、コロナ禍で頓挫
した。2020年に加入。昨年42回のDF
突破はチームFW最多。182cm、105kg

唯一の九州勢は“兄弟愛”で
旋風を巻き起こせるか。

九州からD2に陥り込む。武器はD3最少
226失点の守備。スローガンに「ブラザ
ーフード(兄弟愛)」を掲げて堅陣を敷き、
入替戦の初戦では江東BS相手に48-0
という衝撃完封。九州唯一の参戦チーム
としての矜持から「We Are Kyushu」の
キャッチコピーを掲げ、昇格を掴んだ。今
季新戦力は10人超と成長意欲は十分。九
州出身者が多い大卒新人は、帝京大卒の
山添圭祐ら世代トップクラス。すでに「キ
ューデン旋風」の予感漂っている。

HOST GAME SCHEDULE

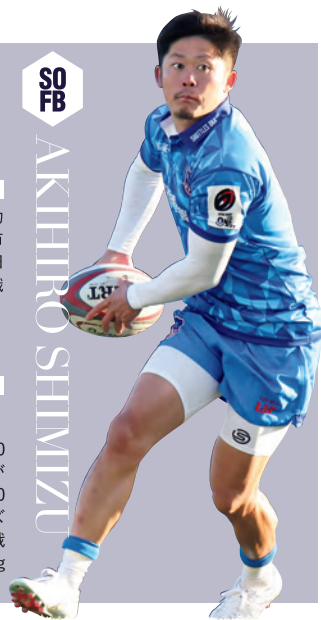
第1節 12月9日(土)
vs. レッドハリケーンズ大阪 **博多陸**
第4節 1月6日(土)
vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス **ミクスタ**
第6節 2月24日(土)
vs. NECグリーンロケッツ東葛 **白波スタ**
第7節 3月2日(土) or 3日(日)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 九州地区内
第9節 3月23日(土) or 24日(日)
vs. 浦安D-Rocks 九州地区内



豊田自動織機シャトルズ愛知

SO
FB

AKIHIRO SHIMIZU



自慢のスクラムをさらに磨いて
今季は入替戦突破へ。

強力なスクラムが売り。2季連続の昇格
は逃したが、FW8人対8人の押し合いは
相模原DBとの入替戦でも優勢だった。
アップテンポの展開攻撃も持ち味であり、
昨年チーム最多7トライの齊藤大朗など
花形バックも多い。将来的な日本一を
見据えるだけあり、戦力充実度は高い。今
季新加入はサモア代表FWタレニ・セウ
など約15人。即戦力が大半だが、東海大
大阪仰星高から高卒ルーキー 2名も入団。
日本出身選手の育成にも力を入れる。

TEAM DATA

①1984年 ②D2・3位 ③豊田自動
織機 逢妻グラウンド / 愛知県刈谷市
逢妻町1-59-1 ④愛知県 ⑤金田
拓也 ⑥徳野洋一 ⑦豊田自動織
機

PICKUP PLAYER

清水晶大

1995年2月18日、大阪府生まれ。2020
年に神戸Sから加入。スタンドオフなが
ら俊敏性に優れ、昨年チーム最多10
回のライン突破を記録。しかしシーズ
ン終盤の順位決定戦で負傷し、入替戦
を欠場。完全復活を期す。175cm、81kg

HOST GAME SCHEDULE

第2節 12月16日(土)
vs. NECグリーンロケッツ東葛 **パロ瑞穂ラ**
第3節 12月24日(日)
vs. レッドハリケーンズ大阪 **パロ瑞穂ラ**
第5節 1月28日(日)
vs. 九州電力キューデンヴォルテクス **パロ瑞穂ラ**
第8節 3月17日(日)
vs. 浦安D-Rocks **パロ瑞穂ラ**
第10節 3月30日(土)
vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス **パロ瑞穂ラ**

CTB

YONHIKIMI



レッドハリケーンズ大阪



TEAM DATA

①1993年 ②D3・1位 ③ドコモ大
阪南港グラウンド / 大阪府大阪市住
之江区南港北1-9-9 ④大阪府大
阪市 ⑤高野一成 ⑥マツ・コペイ
ン ⑦NTTドコモ

PICKUP PLAYER

金勇輝

1993年3月29日、大阪府生まれ。大阪
朝高、法政大を経て2015年に加入。屈
強なセンターとして年代別代表で日の
丸を背負った。2022年に韓国代表に招
集され、同年7月のW杯アジア予選の
香港戦で初キャップ獲得。176cm、90kg

断トツのアタックを武器に
最速でのD1昇格を狙う。

76。昨年D3で断トツだったトライ数だ。
安定したセットプレーと高速攻撃で群を
抜き、フルバックの吉澤太一はトライ王
に。11勝1敗で王者となり昇格を掴んだ。
プレーの正確性や対人強度のスタンダ
ードは高い。2021年度まで最上位リーグ
で9季戦った経験がD3での優位性とな
った。今季は地元大阪への密着度を高め
るべく、チーム名から社名「NTTドコモ」
を外した。プロクラブ志向の英断を追い
風にして、狙うは最速2季でのD1昇格だ。

HOST GAME SCHEDULE

第2節 12月16日(土)
vs. 日本製鉄釜石シーウェイブス **ヨドコウ**
第4節 1月13日(土)
vs. NECグリーンロケッツ東葛 **ヨドコウ**
第6節 2月10日(土)
vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知 **ヨドコウ**
第7節 3月3日(日)
vs. 浦安D-Rocks 長居公園内
第10節 3月31日(日)
vs. 九州電力キューデンヴォルテクス 長居公園内

FL

YOSUKE ISHII



クリタウォーターガッシュ昭島

TEAM DATA

①1962年 ②D3・3位 ③栗田工業 昭島グラウンド／東京都昭島市拝島町3990-3 ④東京都昭島市 ⑤森勝己 ⑥ワイクリフ・パールー ⑦栗田工業

PICKUP PLAYER

石井洋介

1997年8月18日、神奈川県生まれ。桐蔭学園高、明治大を経て2020年に加入。高校日本代表に選出されたタックラーで大学3年時は日本一に貢献。昨季はチーム1位のタックル成功96回を記録。パワフルな突進も売り。183cm、93kg

“ゴジラ”の加入で走るラグビーがさらに進化。

ボールを保持して攻めまくる。「ランニングラグビー」を掲げた昨季は、D3最多のパス、突進回数を記録。5勝7敗と負け越したが、RH大阪に昨季唯一の敗戦を味わわせる波乱を起こした。新戦力の目玉は「トンガン・ゴジラ」の異名を取るホセア・サウマキ。大東文化大卒業後に横浜Eでプレーした怪物キャリアーが、英レスターから日本ラグビー界に復帰。攻撃力増大による「シン・ランニングラグビー」への進化は必至だ。



HOST GAME SCHEDULE

第3節 1月6日(土)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ **AGFファイ**
第6節 2月10日(土)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ **AGFファイ**
第9節 3月9日(土)
vs. 日野レッドドルフィンズ **AGFファイ**
第12節 4月6日(土) or 7日(日)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス 未定
第13節 4月20日(土) or 21日(日)
vs. 日野レッドドルフィンズ 未定
第15節 5月4日(土) or 5日(日)
vs. マツダスカイアクティブズ広島 未定



清水建設江東ブルーシャークス

FL

KOUDAITAKAHASHI



背景多様なプロアマ混合軍団。司令塔獲得で再浮上なるか。

所属する選手の背景は多種多様。母体である清水建設の新卒組に加え、他のリーグワンのチームを退団した再チャレンジ組もいる。プロ選手組では元ニュージーランド代表のスタンドオフ、リマ・ソポアングが大型新戦力。2023年W杯にサモア代表として出場したファンタジスタ型の司令塔だ。昨季は九州KVとの入替戦に敗れ、D2参戦1季目で降格。リーグ開幕年のスタート地点に戻ったが、多様性あふれる強力メンバーで再浮上を目指す。

TEAM DATA

①1976年 ②D2・5位 ③荻田グラウンド／神奈川県横浜市区荻田南町741 ④東京都江東区 ⑤瀧川広一 ⑥吉廣広征 ⑦清水建設

PICKUP PLAYER

高橋広大

1998年5月9日、群馬県生まれ。桐蔭学園高、明治大を経て2021年に加入。激しさと運動量に強みを持ち、高校日本代表を経験するなど世代トップクラスとして活躍。一昨季は大卒1年目でキャプテンに抜擢された。184cm、102kg

HOST GAME SCHEDULE

第1節 12月9日(土)
vs. 日野レッドドルフィンズ **夢の島**
第4節 1月13日(土)
vs. マツダスカイアクティブズ広島 **夢の島**
第5節 1月20日(土)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 **夢の島**
第7節 2月24日(土)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 **駒沢**
第11節 3月31日(日)
vs. マツダスカイアクティブズ広島 **城山陸**
第13節 4月20日(土) or 21日(日)
vs. 中国電力レッドレグリオンズ 未定

FL

EDWARD O'NEIL



中国電力レッドレグリオンズ



TEAM DATA

①1991年 ②D3・5位 ③中国電力坂グラウンド／広島県安芸郡坂町平成ヶ浜4-1-73 ④広島県／中国地方全域(フレンドリー) ⑤脊川穂 ⑥岩戸博和 ⑦中国電力

PICKUP PLAYER

エドワード・カーク

1991年8月28日、オーストラリア生まれ。2020年までスーパーラグビーに参戦した日本チーム「サンウルブズ」の元主将。2016年来日し、2021年に加入。強力ジャッカルでチームを牽引する。愛称は「カーキー」。190cm、108kg

ラインアウトモールを磨いて目指すは入替戦出場。

堅固なラインアウトモールを武器に全員で守り、全員で攻める。昨季は開幕節でSA広島とのリーグ初「広島ダービー」に快勝。徹底強化した守備が奏功した。しかしシーズン後半から失速し、2勝10敗で最下位に沈んだ。チームが初めて海外出身選手を獲得したのは2年前(現BR東京のシオベ・タヴォ)。フルタイムで働くサラリーマン軍団の本格強化は始まったばかり。まずは3位以上に入り、初の入替戦出場を果たしたい。

HOST GAME SCHEDULE

第2節 12月23日(土)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス **パルコムS**
第5節 1月27日(土)
vs. マツダスカイアクティブズ広島 **パルコムS**
第7節 2月25日(日)
vs. マツダスカイアクティブズ広島 **パルコムS**
第9節 3月9日(土)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス **パルコムS**
第11節 3月31日(日)
vs. 日野レッドドルフィンズ **パルコムS**
第14節 4月27日(土) or 28日(日)
vs. クリタウォーターガッシュ昭島 未定



SH

日野レッドドルフィンズ



TEAM DATA

①1950年 ②D2・6位 ③日野自動車総合グラウンド／東京都日野市新町5-18-1 ④東京都日野市、八王子市および周辺地域 ⑤中国真司(チームディレクター) ⑥苑田右二 ⑦日野自動車

PICKUP PLAYER

オーガスティン・プル

1990年1月4日、ニュージーランド生まれ。チーフスでスーパーラグビー連覇を経験。同国代表2キャップを持つ。2018年に加入。2023年W杯は代表資格改正によりルーツのトンガ代表で出場。センターもプレーできる。181cm、93kg

ゼロからのリスタート。1年でのD2復帰なるか。

元日本代表の苑田右二を新指揮官に据え、再出発を図る。昨季は不祥事による試合辞退でD3降格。主力のベテランを含む20名超が去ったが、日本大のルーキー水間夢翔など10名超が新加入。D2復帰の可能性を感じさせる戦力が揃った。日野自動車を母体とする1950年創部の古参だが、前身リーグに初昇格した2018年、チーム名から社名を外して地域密着型に転換。地元の東京都日野市と共に歩む新シーズン。再起の決意を見せられるか。

HOST GAME SCHEDULE

- 第2節 12月24日(日)
vs. クリタウオーターガッシュ昭島 [太田市陸]
第4節 1月13日(土)
vs. 中国電力レッドレグリオonz [AGFワイ]
第6節 2月11日(日)
vs. マツダスカイアクティズ広島 [AGFワイ]
第8節 3月2日(土)
vs. 中国電力レッドレグリオonz [AGFワイ]
第10節 3月24日(日)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス [太田市陸]
第15節 5月4日(土)or 5日(日)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス 未定



SKYACTIVS
HIROSHIMA

マツダスカイアクティズ広島

SH
CTB

JACOB ABEL



長身選手を獲得して空中戦の占拠率拡大を図る。

昨季は開幕5連敗。6戦目で2カ月続いた負けのトンネルを抜けると、中国RRとの広島ダービーで2連勝。3勝9敗の4位ながら力強くフィニッシュした。堅実な得点パターンはモール。起点のラインアウトは194cmのロックラン・オズボーンが大黒柱だ。今季は190cm台の海外2選手が加入し、空中戦の占拠率拡大が見込める。主将の崎口銀二郎はレフリーとの二刀流に挑戦中。昨季課題に挙がった反則数の改善に寄与できるか。

TEAM DATA

①1963年 ②D3・4位 ③マツダレーニングセンター鯛尾グラウンド／広島県安芸郡坂町鯛尾2-6 ④広島県 ⑤大田和成(チームディレクター) ⑥中居智昭 ⑦マツダ

PICKUP PLAYER

ジェイコブ・アベル

1997年10月30日、オーストラリア生まれ。フォースなど豪州国内で経験を積み、昨季途中の2023年2月に加入。スクラムハーフとセンターをこなす万能型バックスとして攻撃を活性化。第8節の初勝利に大きく貢献。174cm、92kg

HOST GAME SCHEDULE

- 第1節 12月16日(土)
vs. クリタウオーターガッシュ昭島 [バルコム]
第3節 1月6日(土)
vs. 日野レッドドルフィンズ [バルコム]
第8節 3月2日(土)
vs. 清水建設江東ブルーシャークス [福通RS]
第10節 3月23日(土)
vs. クリタウオーターガッシュ昭島 [バルコム]
第12節 4月6日(土)or 7日(日)
vs. 中国電力レッドレグリオonz 未定
第14節 4月27日(土)or 28日(日)
vs. 日野レッドドルフィンズ 未定

COLUMN

リーグワンは拡大中 2024-25の新規参入チームは?

text & photograph by Nobuhiko Otomo



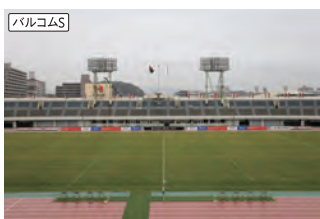
セコム、秋田とも現在は4部リーグたるトップイーストAに所属

9月30日、埼玉県狭山市のセコムラグビーフィールドで行われたトップイーストのセコムラグッツ対秋田ノーザンブレックの戦いは300人のファンが集まった。両チームは来季(2024-25シーズン)からのリーグワン新規参入を申請していた。セコムは03年の旧トップリーグ発足メンバー。活動縮小を経て今季から強化を再開して社会性・事業性の確立を目指す。秋田は旧全国社会人大会8度出場の秋田市役所を前身に04年クラブを設立。名選手が多数生まれたラグビーどころから地域に貢献するクラブを目指す。それぞれのアプローチでリーグワンの理念実現に取り組んでいるところだ。

10月3日、リーグが発表した新規参入候補は他にヤクルトレビonzとLeRRO福岡。リーグワンは現在23チーム。可能な限り多くの仲間を迎えるのが基本方針で、チーム数を偶数にするため参入枠は「1or3」とする。今後は財務と戦績(直近を重視し過去3年間)の評点を加え、候補間の順位と参入チームが決まる。

スタジアムガイド STADIUM

リーグワン開催スタジアム一覧



ディビジョン

都道府県 | スタジアム名

略称

DIVISION 1

北海道	札幌ドーム	札幌ド
埼玉	熊谷スポーツ文化公園ラグビー場	熊谷
東京	味の素スタジアム	味スタ
東京	秩父宮ラグビー場	秩父宮
東京	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場	駒沢
東京	スピアーズえどりくフィールド(江戸川区陸上競技場)	えどりく
神奈川	相模原ギオンスタジアム	ギオンス
神奈川	日産スタジアム	日産ス
神奈川	ニッパツ三ツ沢球技場	ニッパツ
神奈川	等々力陸上競技場	等々力
岐阜	岐阜メモリアルセンター長良川競技場	長良川
静岡	ヤマハスタジアム(磐田)	ヤマハ
愛知	パロマ瑞穂ラグビー場	パロマ瑞穂ラ
三重	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 サッカー・ラグビー場	鈴鹿
大阪	東大阪市花園ラグビー場	花園
兵庫	ノエビアスタジアム神戸	ノエスタ
兵庫	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場	ユニバ
長崎	長崎市総合運動公園 かきどまり陸上競技場	かきどまり
大分	レゾナックドーム大分	レゾド

DIVISION 2

岩手	釜石鵜住居復興スタジアム	釜石復興
福島	ハワイアンズスタジアムいわき	ハウスタ
福島	いわぎんスタジアム	いわスタ
千葉	ゼットエーオリブリススタジアム	オリブリ
千葉	柏の葉公園総合競技場	柏の葉
東京	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場	駒沢
神奈川	大和なでしこスタジアム	大和
愛知	パロマ瑞穂ラグビー場	パロマ瑞穂ラ
大阪	ヨドコウ桜スタジアム	ヨドコウ
福岡	東平尾公園博多の森陸上競技場	博多陸
福岡	ミクニワールドスタジアム北九州	ミクスタ
鹿児島	白波スタジアム	白波スタ

DIVISION 3

群馬	太田市運動公園陸上競技場	太田市陸
東京	江東区夢の島競技場	夢の島
東京	AGFフィールド	AGFフィー
東京	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場	駒沢
神奈川	小田原市城山陸上競技場	城山陸
広島	Balcom BMW Stadium	バルコムS
広島	福山通運ローズスタジアム	福通RS



全スタジアムの詳細はこちら！

COLUMN

スーパーラグビーの強豪とガチ対決 クロスボーダーマッチ開催決定！

text by Takayuki Fuchi

2020年にサンウルブズが活動を終えて以来、リーグワン以外で日本選手のレベルアップを図るための枠組みが検討され続けてきた。

そしてこの11月、関係者が調整を続けてきたクロスボーダーマッチ(正式名称未定)が、2024年2月に開催されると発表された。

来日するのはニュージーランドからスーパーラグビー・パシフィックに参戦するチーフス(昨季リーグ戦1位)とブルーズ(同3位の2チーム)。迎え撃つリーグワン勢は昨季の上位4チームで、埼玉WK対チーフス(2月3日・熊谷)、東京SG対ブルーズ(2月4日・秩父宮)、S東京ベイ対チーフス(2月10日・秩父宮)、横浜E対ブルーズ(2月10日・ニッパツ)の計4試合が開催される(対戦カードは変更の可能性あり)。

今回は全4試合の交流戦にとどまるが、将来的にはチャンピオンシップを決める公式大会を目指す。チケット情報など詳細は追って発表。強豪との本気の勝負の機会だけに、今後の情報に注目してほしい。



1996年創設のチーフス。過去にはリーチマイケルや山下裕史が所属

TICKET チケットガイド

オススメのチケット購入方法とは？

1 「Japan Rugby ID」に登録

チケット購入やラグビー情報、グッズ購入など、これまで複数の会員登録が必要だった日本ラグビーのサービスがリニューアルされて1つのIDで利用できるように！ 将来的にはチームごとのグッズが購入できるようになるほか、イベント情報なども提供される予定。



「Japan Rugby ID」の詳細と登録はこちらから

2 試合情報をキャッチ

「Japan Rugby ID」のメールマガジンに登録して、ラグビーをもっともっと便利に楽しめるさまざまな情報をキャッチしよう！



3 「Ticket RUGBY(チケラグ)」でチケット購入

「Japan Rugby ID」でログインして、リニューアルした「Ticket RUGBY (チケラグ)」でチケットを購入しよう！ 「チケラグ」では男女日本代表、リーグワンはもちろん、大学や高校カテゴリーのチケットが購入可能になったほか、さまざまな限定発売のチケットの申し込みができる。さらに検索機能のパワーアップや、お気に入り機能の搭載で、お目当てのチーム・試合がすぐに見つかる。2024年秋までには、公式リセール機能などサービス拡充の予定もあり。



「チケラグ」は今シーズンよりリニューアルし、使い勝手や情報量が大幅に向上した



「Ticket RUGBY(チケラグ)」はこちらから

4 推しのチームができればファンクラブに入会

ファンクラブに入会すればチケットを割安で購入できる。現在は各チームの公式サイトからの登録・購入だが、2024年秋ごろにはファンクラブ限定発売チケットも「Ticket RUGBY (チケラグ)」で購入できる予定。

チケットの価格例

東京サントリーサンゴリアスの試合を秩父宮で観る場合

席種	指定/自由	FC価格	前売価格	当日価格
メインSS	指定	6,000円		6,500円
メインS	指定	5,000円		5,500円
メインA (北・南)	大人	3,500円	4,000円	4,500円
	小中高			
バックS	指定	4,500円		5,000円
バックA (北・南)	大人	2,500円	3,000円	3,500円
	小中高			
ゴール裏B (南)	大人	1,500円	2,000円	2,500円
	小中高			
ゴール裏B (北) [*]	大人	1,500円	2,000円	2,500円
	小中高			
車いす席	大人	2,500円	3,000円	3,500円
	小中高			

※試合日により、ゴール裏B(北)の席は使用しない場合があります。

秩父宮ラグビー場 座席図



■ メインSS 指定席 ■ バックS 指定席 ■ ゴール裏B立見自由席/北側
■ メインS 指定席 ■ バックA 自由席 ■ 車いす 自由席
■ メインA 指定席 ■ ゴール裏B自由席/南側 ■ 非販売エリア

12月9日開幕！ NTTジャパンラグビー リーグワン2023-24大会日程

ディビジョン	日程	大会フォーマット
DIVISION 1	2023年12月9日(土)～2024年5月6日(月祝) [予定] 2024年5月18日(土)～2024年5月26日(日) [予定]	レギュラーシーズン／リーグ戦 2カンファレンス6チーム総当たり2回戦(60試合) カンファレンス交流戦総当たり戦(36試合) ポストシーズン／プレーオフトーナメント レギュラーシーズン上位4チームによる プレーオフトーナメント(4試合)
DIVISION 2	2023年12月9日(土)～2024年3月31日(日) 2024年4月20日(土)～2024年5月5日(日)	レギュラーシーズン／リーグ戦 6チーム総当たり2回戦(30試合) レギュラーシーズン／順位決定戦 上位・下位3チーム総当たり順位決定戦(6試合)
DIVISION 3	2023年12月9日(土)～2024年5月5日(日)	レギュラーシーズン／リーグ戦 5チーム総当たり3回戦(30試合)
人替戦	2024年5月17日(金)～2024年5月25日(土) [予定]	ポストシーズン (予定。2024-25の新規参加チーム数による) D1下位3チーム対D2上位3チームによる2回戦(6試合) D2下位3チーム対D3上位3チームによる2回戦(6試合)

1



実力も折り紙付きの 王子系イケメン ボーデン・バレット

トヨタヴェルブリッツ

「絶対に好みのタイプが見つかるはずですよ」と、ワイルド系、美少年系、小熊系、イケオジ系……様々なイケメンを挙げてくれた戸田さんだが、なかでも一番の推しがバレット選手。激しいプレーでもほとんど崩れることのない甘いマスクは、まさに王子の名にふさわしい。ワールドラグビーの年間最優秀選手に2度も輝くなど、実力も折り紙つき。バレット家は8人きょうだい。そのうち男は5人で、4人が現役ラグビー選手として活躍。W杯フランス大会では3人がオールブラックスに選出され、3兄弟揃ってのスタメン入りも果たした。2021年以降、日本を離れていたが、今季、リーグワンに待望の復帰。この甘いマスクにスタジアムで会うことができるのだ。「私も来日がとても楽しみです」

LEAGUE ONE 2023-24

W杯後の 新たな挑戦

林田順子 = 文
text by Junko Hayashida



2

お手本にしたい 食意識の高さ 金正奎

浦安D-Rocks

過酷なプレーに耐えるラグーマンは何を食べているのか、気になっている人も多いだろう。「体格の割に食事はそこまで多くなくて、バランス良く食べている印象です。ただ、日本代表に同行したシェフによると、肉などのたんぱく質はサッカー選手の3倍ほど食べるそうです」。そんなアスリートの食生活を発信しているのが金選手だ。彼のX(旧Twitter)には、おしゃれカフェかと思うような色とりどりのおかずがのったワンプレートディッシュが投稿されていて、食意識の高さが伝わってくる。また、まとめられたモーメントには、レシピや栄養についての解説などもアップされている。食生活のお手本にしたい人はぜひ「#きんめし」で検索してみよう。

[新入り女性広報がナビゲート]

推しメンを探せ。

推しの選手がいれば、ラグビー観戦はもっと楽しくなる。「ラグビーは選手も多彩なので、絶対に推しが見つかります」と力説するのは、入社したての女性広報。そんな彼女に超私的推しメンを教えてもらった。



一般社団法人ジャパンラグビーリーグワン 戸田桜子さん
コミュニケーション部
PR会社を経て2023年8月から現職。転職前まではW杯のときだけ観る「にわかファン」だったが、現在では選手のSNSまで細かくチェックし、推しのリサーチにも余念がない

男たちの友情が胸熱! ノーサイドも要チェック

試合が終われば、敵味方関係なく、互いを称え合う。それがラグビーのノーサイド精神だ。とはいえ「試合が終わって握手することなんて、他のスポーツでもある話」と思っていないだろうか。だが、ノーサイドはその上をいく。フィールドでの記念撮影や、お互いのロッカールームに顔を出して談笑しながら一杯飲むこともザラ。試合後の選手たちの人間関係をチェックするという楽しみ方もおすすめしたい。また、スタジアムの観客席も基本的にはホストorビジターに分かれておらず、敵味方が混在した状態で応援を繰り返す。競技が違えば、小競り合いでも起きそうな状況だが、そうならないのは、ファンもノーサイド精神を大切にしているからだ。



JAPAN RUGBY LEAGUE ONE

3

ラグーマン流 イケメンで話題 岩村昂太

三菱重工相模原ダイナポアーズ

W杯フランス大会では試合後、我が子を抱き上げる選手たちの姿も話題となったが、これはリーグワンでもよく見られる光景。「家族思いの選手がとても多い印象です」。なかでもインスタグラムでのイケメンっぷりが注目を集めているのが二児の父親である岩村選手。「とくにお子さんと遊びにラグビー選手の身体能力を持ち込む“こんな父親嫌だシリーズ”は可愛くて、見ているだけで和みます」。他にも様々な選手がSNSで家族との写真をアップしている。試合のときの闘う姿とは違う、意外な素顔に出会えるはずだ。



4

妻が発信する 屈強な選手の素の日常 アマナキ・レイマフィ

横浜キヤノンイーグルス

SNSを活用しているラグビー選手は多い。「リコーブラックス東京の堀米航平選手は、インスタグラムの写真のクオリティが高く、いつもすごいなぁと思いつつ見えています」。だが、今一番注目をしているのは、選手ではなく、なんとマフィ選手の妻、あずささんのSNSだ。「3人のお子さんとの日常が綴られているのですが、言葉のセンスが絶妙で、めちゃくちゃ笑えるんです」。その文才が話題となり、最近ではウェブマガジンで連載もスタートしたほど。また、観察日記的なインスタグラムでは、幼い我が子たちに翻弄されるマフィ選手の動画などが、これまた絶妙な編集で、面白おかしく公開されていて、一度見たらハマること間違いなしなのだ。



5



全ラグビーファンに向けた
日本ラグビー公式アプリ。



©JRLO,2023



リーグワン情報も盛りだくさん
今すぐDL!



GO FORWARD AS ONE

ファンと共に世界一のリーグへ

JRID関連サービスを活用して、JAPAN RUGBYを世界一楽しもう!

JAPAN RUGBY ID

楽しむための3STEP

日本ラグビーのすべてが一つのIDに。

Japan Rugby ID とは?

今までそれぞれで会員登録が必要だった日本ラグビーのサービス。これがリニューアルされて一つのID で利用できるようになります!

1

まずはJRIDを登録!

各種サービスに
ログインできるよう
になります



2

使いたいサービスを選択



3

世界一楽しむ!





JAPAN RUGBY
LEAGUE

ONE

MUFG

進むことでしか、 そのゴールには たどり着けない。

このスポーツでは、トライには大きな拍手が送られる。

決まった時はもちろん、決まらなかった時にでも。

当たり前に見える、私たちの小さな毎日のトライにも、

ひとつひとつに拍手を送ろう。



三菱UFJフィナンシャル・グループ

世界が進むチカラになる。

<https://www.mufg.jp>

MUFG